

VDRH-700 / VDRH-700EX

本体操作説明書-統合版

(Ver1.6.0)

株式会社 オンテック

改訂履歴

改定日	改訂番号	改訂ページ	改訂内容
2008/11/06	1.0.0		新規作成
2008/11/14	1.1.0		本体メニュー操作追加
2008/12/16	1.2.0		TC チェイス機能追加。修正箇所追記。
2009/02/12	1.3.0		目次の追加。INHI 操作、MENU 操作、リブート操作追記。
2009/03/06	1.4.0	P26	FORMAT ボタン長押し注意追記
2009/09/03	1.5.0	P33	ADMIN MENU の呼び出し方。数値の増減方法。
2009/11/24	1.5.1	P21	フロントパネル画像の変更 操作説明を補足・追記 主なメニュー設定とその操作を追加
2009/12/23	1.5.2		TCC 表記部分に注釈を加え、標準版と TCC 版とを統合。
2010/02/10	1.6.0		TC1.30 の機能を追加

～目次～

1.	電源投入前の準備	7
2.	電源投入	7
3.	収録開始	8
4.	収録停止	9
5.	再生 / STILL(一時停止) / 停止	10
6.	早送り (FF)/巻き戻し (REW)	11
7.	Variable 再生	11
8.	フレーム送り・戻し	11
9.	追っかけ再生	12
10.	録画しながら別のシーンを再生	13
11.	ループ収録	14
12.	フロントパネルからの CUE UP	15
13.	ディスクの初期化 (フォーマット)	17
14.	ラストシーン削除	18
15.	エラーメッセージのクリア	19
16.	KEY INHIBIT / REC INHIBIT	20
17.	強制リブート	20
18.	本体メニュー操作	21
1.)	メニューの表示方法	21
2.)	ADMIN MENU の表示方法	21
3.)	選択操作について	21
4.)	主なメニュー設定とその操作	22
1.)	REF 設定	22
2.)	タイムコード設定	22
3.)	HD-OSD 表示設定	22
4.)	SYSTEM PHASE の設定	22
5.)	コンプレス	23
6.)	Cue Up TC の検索方法の変更	23
7.)	422 からの STOP 動作の設定	23
5.)	USER MENU 1	24
5.) - 1	USER MENU1 - SYSTEM1	24
5.) - 1. - 1	USER MENU1 - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 1	25
5.) - 1. - 2	USER MENU - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 2	25
5.) - 1. - 3	USER MENU1 - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 3	26
5.) - 1. - 4	USER MENU1 - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 4	26
5.) - 1. - 5	USER MENU1 - SYSTEM1 - IP ADDRESS	27
5.) - 1. - 6	USER MENU1 - SYSTEM1 - MONITOR OUTPUT	27
5.) - 1. - 7	USER MENU1 - SYSTEM1 - SYNC TYPE	28
5.) - 2	USER MENU1 - SYSTEM2	29
5.) - 2. - 1	USER MENU1 - SYSTEM2 - RS422 PROTOCOL	29

5.) - 3	USER MENU1 - AUDIO.....	30
5.) - 3. - 1	USER MENU1 - AUDIO - HEADPHONE CH.....	30
5.) - 3. - 2	USER MENU1 - AUDIO - HEADPHONE LEVEL.....	31
5.) - 3. - 3	USER MENU1 - AUDIO - LIP SYNC.....	31
5.) - 3. - 4	USER MENU1 - AUDIO - SLOW MUTE.....	32
5.) - 3. - 5	USER MENU1 - AUDIO - MUTE SOUND.....	32
5.) - 4	USER MENU1 - REC MODE.....	33
5.) - 4. - 1	USER MENU1 - REC MODE - REC LOOP TIME.....	33
5.) - 4. - 2	USER MENU1 - REC MODE - REC TYPE.....	34
5.) - 4. - 3	USER MENU1 - REC MODE - RS422 REC STOP.....	34
5.) - 4. - 4	USER MENU1 - REC MODE - HD INPUT CHECK.....	35
5.) - 5	USER MENU1-PB MODE 1.....	36
5.) - 5. - 1	USER MENU1 - PB MODE 1 - FF/REW MAX SPEED.....	36
5.) - 5. - 2	USER MENU1 - PB MODE 1 - PLAY TYPE 1.....	37
5.) - 5. - 3	USER MENU1 - PB MODE 1 - PLAY TYPE 2.....	37
5.) - 5. - 4	USER MENU1 - PB MODE 1 - SYSTEM PHASE.....	38
5.) - 5. - 5	USER MENU1 - PB MODE 1 - RS422 PB STOP.....	38
5.) - 5. - 6	USER MENU1 - PB MODE 1 - JOB MAX SPEED.....	39
5.) - 6	USER MENU1 - PB MODE 2.....	40
5.) - 6. - 1	USER MENU1 - PB MODE 2 - SHUTTLE MAX SPEED.....	40
5.) - 6. - 2	USER MENU1 - PB MODE 2 - JOG MOVING AVERAGE.....	41
5.) - 6. - 3	USER MENU1 - PB MODE 2 - RS422 SCENE JUMP.....	41
5.) - 6. - 4	USER MENU1 - PB MODE 2 - RS422 GANG MODE.....	42
5.) - 6. - 5	USER MENU1 - PB MODE 2 - TCC MODE.....	42
5.) - 7	USER MENU1 - DISK.....	44
5.) - 7. - 1	USER MENU1 - DISK - COMPRESS.....	44
5.) - 7. - 2	USER MENU1 - DISK - DELETE ALL.....	45
5.) - 7. - 3	USER MENU1 - DISK - DELETE SELECT.....	45
5.) - 7. - 4	USER MENU1 - DISK - FORMAT.....	46
6.)	USER MENU2.....	47
6.) - 1	USER MENU2 - TIME CODE.....	47
6.) - 1. - 1	USER MENU2 - TIME CODE - DROP FRAME.....	48
6.) - 1. - 2	USER MENU2 - TIME CODE - PRESET TIME.....	48
6.) - 1. - 3	USER MENU2 - TIME CODE - TIME CODE MODE.....	49
6.) - 1. - 4	USER MENU2 - TIME CODE - SELECTION ON EE.....	49
7.)	ADMIN MENU.....	50
7.) - 1	ADMIN MENU - SYSTEM1.....	50
7.) - 1. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM1 - DATE TIME.....	51
7.) - 1. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM1 - DIAGNOSTICS.....	51
7.) - 1. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM1 - MON OSD DISPLAY 1.....	52
7.) - 1. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM1 - MON OSD DISPLAY 2.....	52

7.) - 1. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM1 - PASSWORD.....	53
7.) - 2	ADMIN MENU - SYSTEM2.....	54
7.) - 2. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SET DEFAULT.....	54
7.) - 2. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW ERROR LOG.....	55
7.) - 2. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW OP LOG.....	55
7.) - 2. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW VERSION.....	56
7.) - 2. - 5	ADMIN MENU - SYSTEM2 - VIDEO TYPE.....	56
7.) - 3	ADMIN MENU - SYSTEM3.....	57
7.) - 3. - 1	ADMIN MENU - SYSTEM3 - CLEAR LOG.....	57
7.) - 3. - 2	ADMIN MENU - SYSTEM3 - DEVICE TYPE.....	58
7.) - 3. - 3	ADMIN MENU - SYSTEM3 - DOWNLOAD.....	58
7.) - 3. - 4	ADMIN MENU - SYSTEM3 - ALWAYS ADMIN.....	59
7.) - 4	ADMIN MENU - MODE.....	60
7.) - 4. - 1	ADMIN MENU - MODE - CUEUP SCENE.....	60
7.) - 5	ADMIN MENU - DISK.....	61
7.) - 5. - 1	ADMIN MENU - DISK - LOCK DELETE.....	61
7.) - 5. - 2	ADMIN MENU - DISK - RECOVER SCENE.....	62
1 9.	タイムコードチェイスモードについて (別売オプション)	63
1.)	STAND ALONE MODE	63
2.)	MASTER/SLAVE MODE.....	65

1. 電源投入前の準備

- AC 電源を接続して下さい。
- HD-SDI 入力信号を接続して下さい。
- BB 同期信号を接続して下さい。

VDRH-700 シリーズには、FS 機能は搭載していません。
 BB 同期で使用する場合は、同期した映像を入力して下さい。
 非同期入力を使用する場合は、SDI 同期で使用してください。
 BB 同期ではご使用になれません。


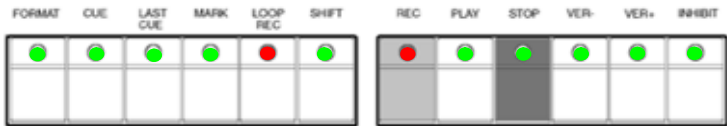
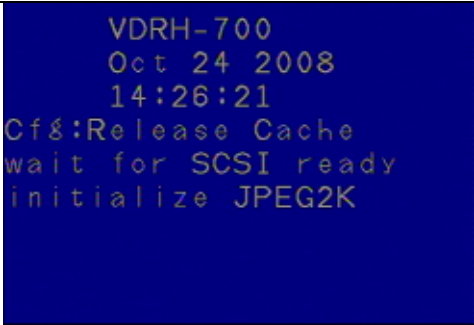



○OUT2(super)に、HD モニタを接続して下さい。 ○Monitor(super)に、NTSC モニタを接続して下さい。

※アプリケーション PC の接続については、それぞれの資料をご参照下さい。

2. 電源投入

- ① 背面パネル POWER スイッチを ON にします。(700EX の場合、2 つとも ON にして下さい。)

○Monitor Out 画面(NTSC)に次のように表示されます。

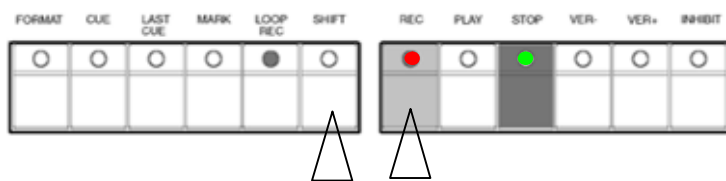
起動状態の表示推移	
Monitor Out 画面(NTSC)	フロントパネルの操作ボタン
 <p>[オープニングメッセージ]</p>	 <p>フロントパネルの LED が全て点灯します</p>
 <p>[初期化中画面]</p>	 <p>しばらく処理が進むと、フロントパネルが全て消灯します。</p>
 <p>[起動完了/EE 画面]</p>	 <p>STOP ボタンの LED が点灯した状態になります。</p>

○この状態で、フロントパネルからの操作が可能になります。

3. 収録開始

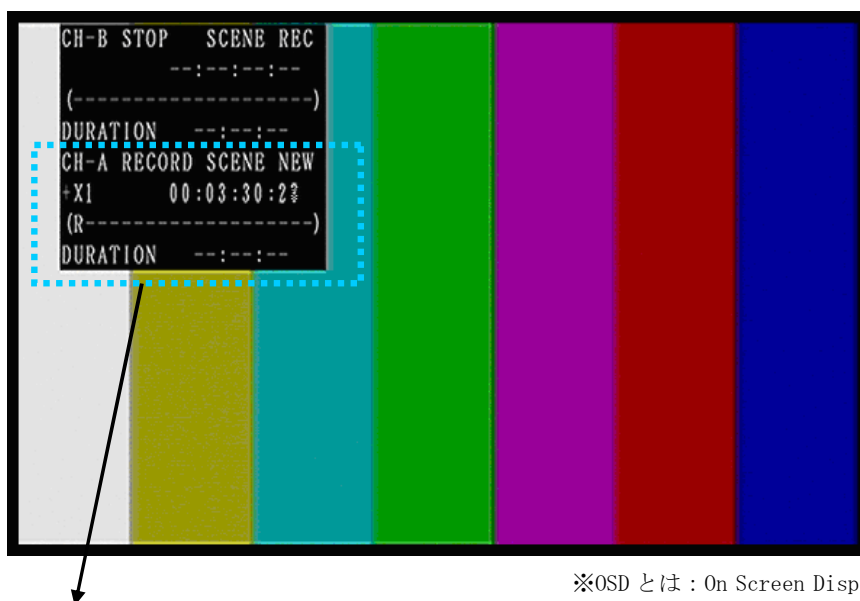
●収録を開始します。

① SHIFT ボタンを押しながら、REC ボタンを押すと収録状態になります。



○収録中は、REC の LED が点灯します。

[HD-OSD※の表示]



※OSDとは：On Screen Display の略で、この場合、HD 映像上の情報表示のことを指します。

○状態が STOP から RECORD になります。

○収録している TC が表示されます。

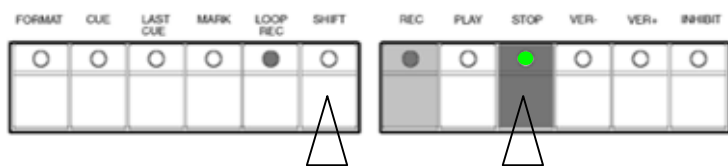
○デュレーションインジケータに” R” のマークが表示されます。

※メニュー設定により、HD-OSD の表示は異なります。

4. 収録停止

●収録を停止します。

① SHIFT ボタンを押しながら STOP ボタンを押します。



○REC LED が点滅後、消灯します。

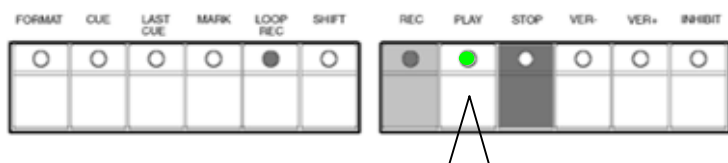


○シーン番号が1つ増えます。

5. 再生 / STILL(一時停止) / 停止

●再生をします。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

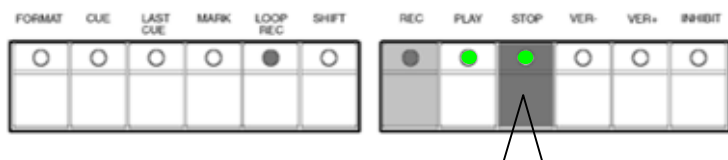
①PLAY ボタンを押します。



○PLAY LED が点灯します。

●再生を一時停止します。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

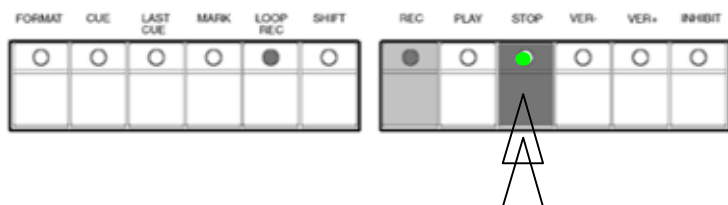
① STOP ボタンを押します。



○STOP LED が点灯して、再生が一時停止します。この状態で PLAY を押すと、再び、再生を始めます。

●再生を停止します。(通常再生・追っかけ再生とも、操作に違いはありません。)

① STOP ボタンを2回押します。(STILL 状態からは、1回押します。)



○STILL の状態を介して、再生停止状態になります。

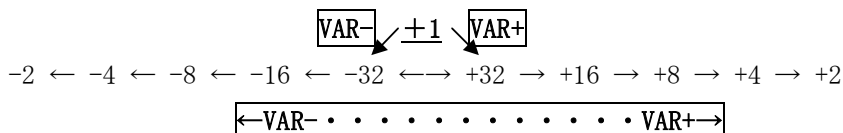
○PLAY の LED が消灯し、STOP LED が点灯します。

6. 早送り (FF)/巻き戻し (REW)

- ① PLAY 中に、SHIFT ボタンを押しながら VAR+/VAR-ボタンを押すと早送り/巻き戻しができます



○それぞれの操作により、

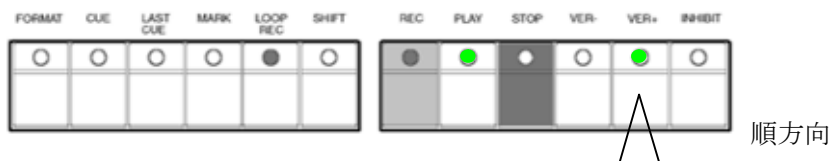


と、再生速度が変化します。

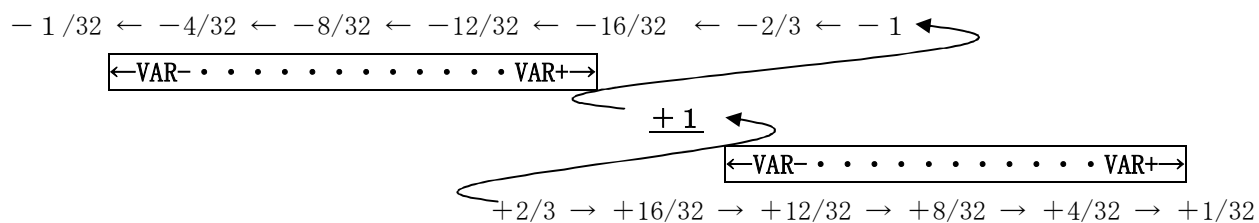
7. Variable 再生

- 再生状態から、Variable 再生が出来ます。

- ① PLAY 中に、順方向の場合 VAR+ボタンを押します。 逆方向の場合 VAR-ボタンを押します。



○それぞれの操作により、

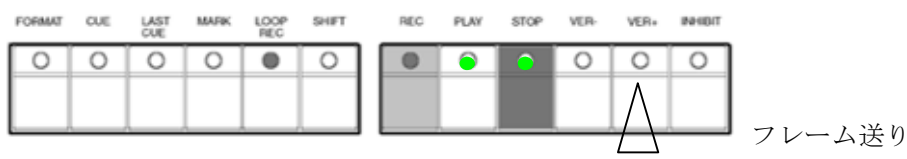


と、再生速度が変化します。

8. フレーム送り・戻し

- 再生停止状態(STILL)からコマ送り（フレーム送り）ができます。

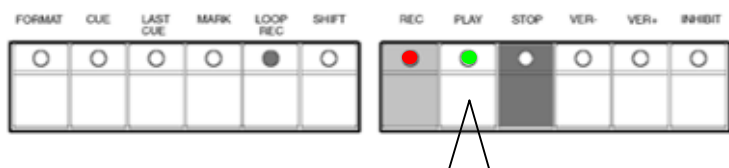
- ① STILL 状態にします。
② VAR+ボタンで順方向、VAR-ボタンで逆方向にコマ送りします。



9. 追っかけ再生

●録画中の素材を再生します。

- ① 録画を開始します。
- ② PLAY ボタンを押します。

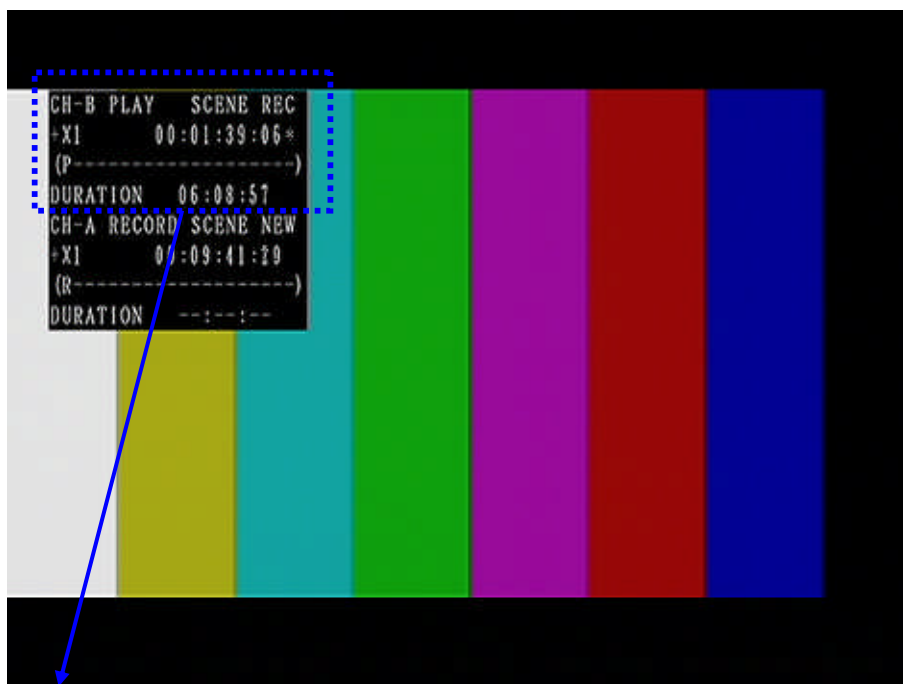


○REC と PLAY の LED が点灯します。

補足) 収録を開始した時に、他のシーンを再生していた場合

再生を停止した後に、シーンを選択する必要があります。

再生停止状態で VAR+ をおして、HD-OSD の SCENE 表示が “REC” になるまで押して下さい。

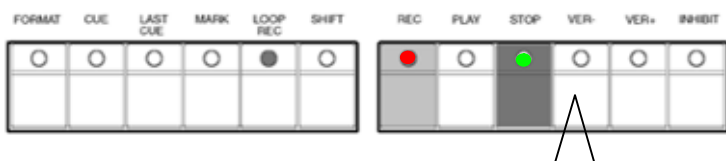


- 再生側の状態が STOP から PLAY に変わります。
- 現在再生している TC が表示されます。
- デュレーションインジケータに” P” のマークが表示されます。

10. 録画しながら別のシーンを再生

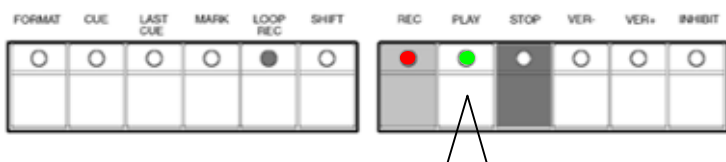
●収録中に、収録しているシーン以外を再生します。

- ① 収録を開始します。再生は停止状態にして下さい。
- ② VAR-ボタンを押します。



○再生シーン No. が戻ります。(戻しすぎた場合は、VAR+ボタンを押します。)

- ③ PLAY ボタンを押します。

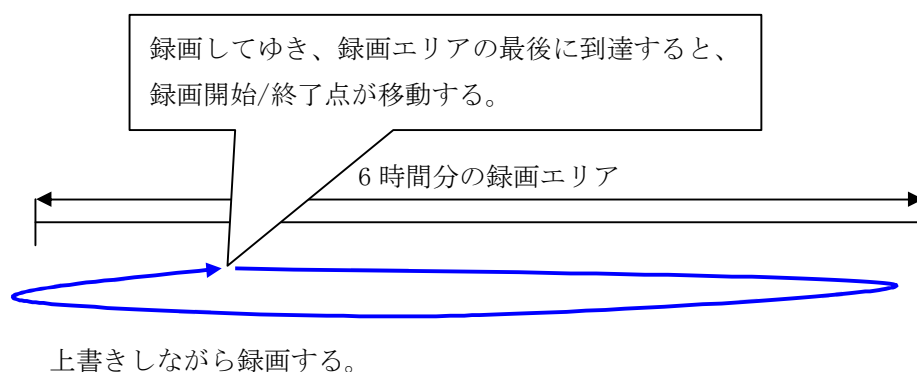


○選択されたシーンが再生されます。

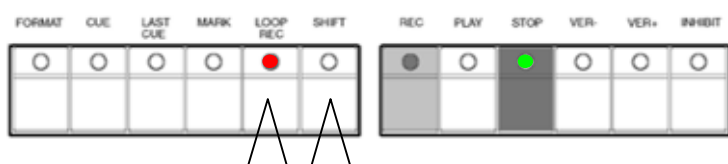
11. ループ収録

●任意の時間※分を録画して一杯まで記録した後は、古いものから上書きしてゆく収録方法です。

※ディスクの制限容量以上の時間は、設定できません。



① SHIFT ボタンを押しながら LOOP REC ボタンを押します。



○LOOP REC の LED が点灯します。

○ループ収録中のシーンも追いかけて再生ができます。

○ループ収録を停止する操作は、通常収録の停止と同様に「SHIFT+STOP」です。

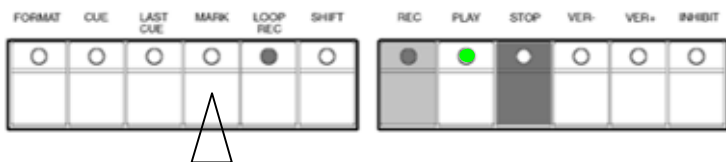
○LOOP REC LED が点滅後、消灯します。

○設定した収録時間以下で停止した場合は、通常シーンとして管理されます。

12. フロントパネルからの CUE UP

- VDRH-700 では、フロントパネルから CUE UP することができます。
- CUE UP ポイント数は 10 点です。

- ① 任意のシーンを PLAY します。
- ② MARK ボタンを押して、一時記憶します。



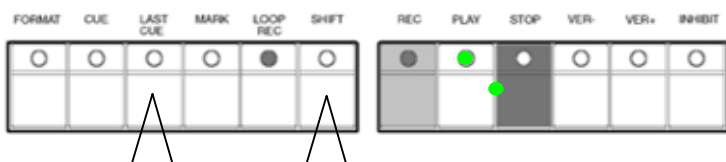
[Monitor Out の画面]



- MARK に CUE UP DATA が登録された様子です。
○0001 シーンの TC 00:30:23:26 が、CUE ポイントの 0 1 番に登録されています。

- CUE 点を選択する。

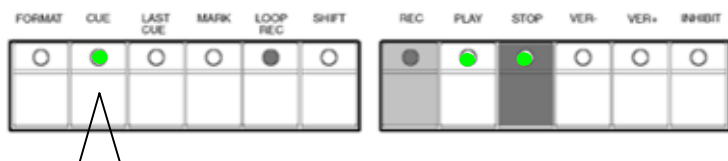
- ① SHIFT ボタンを押しながら、LAST CUE ボタンを押します。



○SHIFT+LAST CUE を押すと、CUE02→CUE01→CUE10→・・・ とサイクル表示します。

●CUE UP する。

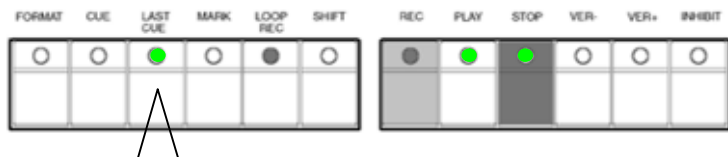
① CUE ボタンを押します。



○CUE UP して STILL になります。

●ワンタッチで、最後に登録した CUE に CUE UP します。

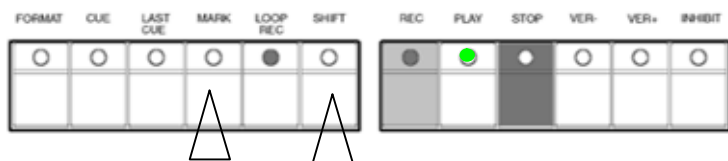
① LAST CUE ボタンを押します。



○最後（最新）の CUE ポイント (CUE03) に CUE UP します。

●全ての CUE をクリアします。（個別にはクリアできません。）

① SHIFT ボタンを押しながら、MARK ボタンを押します。



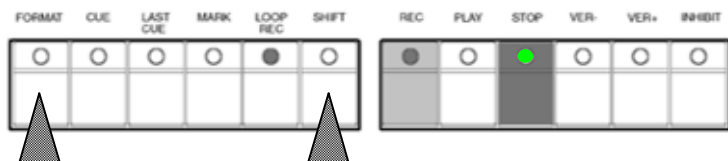
○全ての CUE がクリアされます。

13. ディスクの初期化（フォーマット）

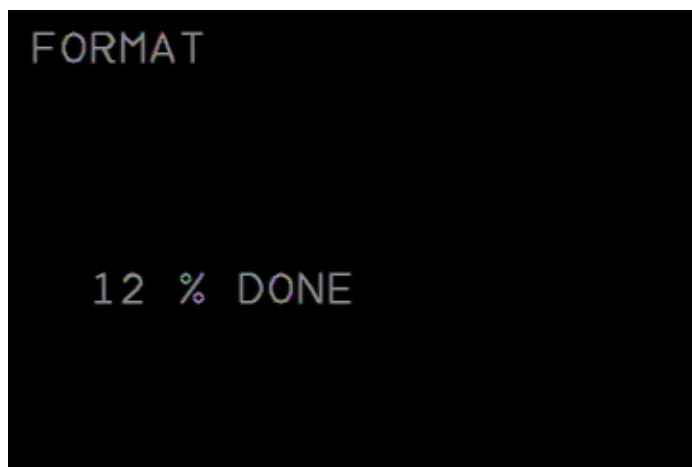
●VDRH に記録されている素材を全て削除します。

収録も再生も、停止している必要があります。

- ① SHIFT ボタンを押しながら FORMAT ボタンを押して 5 秒間押し続けます。



[FORMAT 中の画面]



○進捗状況が表示され、処理が完了すると起動完了時の画面に戻ります。

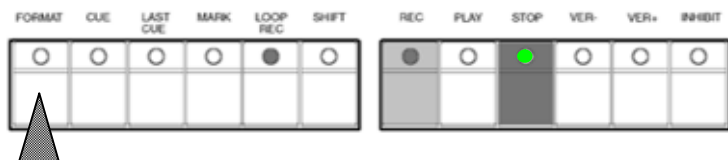
14. ラストシーン削除

●最後のシーンのみ削除できます。

収録を始めたけど、設定の誤りに気づいたときなどに、便利な機能です。

収録も再生も、停止している必要があります。

① FORMAT ボタンを5秒間長押しします。



○最後のシーンが削除され、その分の記録時間が収録可能となります。

注意！！

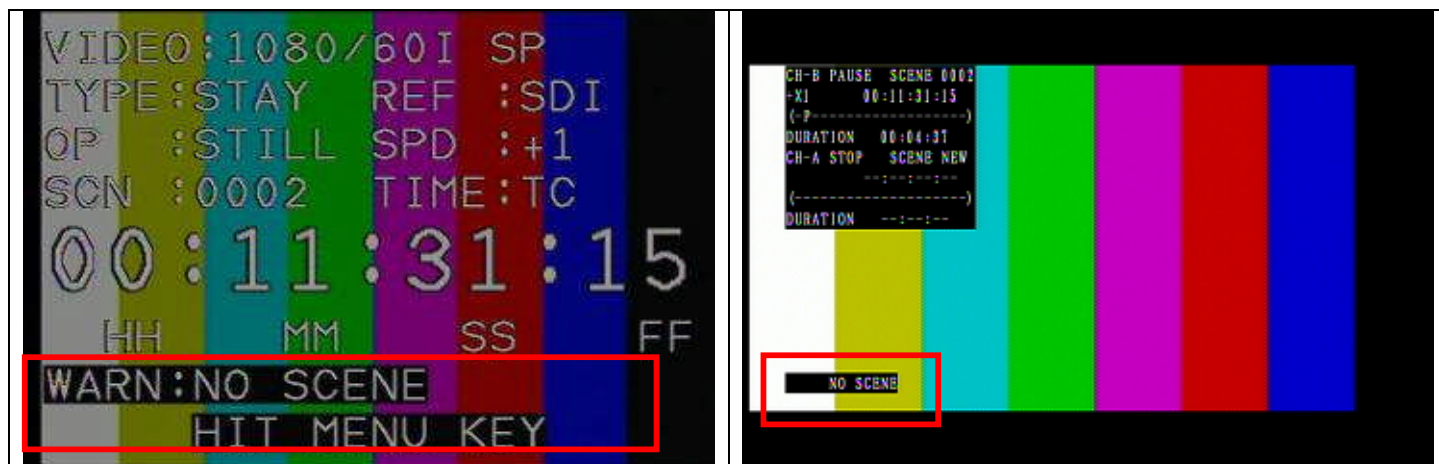
本体バージョンによっては、前項の「ディスクの初期化（フォーマット）」と、操作が入れ替わっているものがあります。（初期バージョンの仕様）

フォーマットが行なわれても問題のない状態で一度お試し頂くか、弊社サポートまでお問い合わせ下さい。

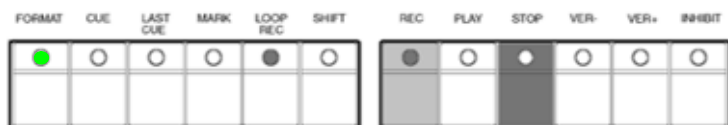
15. エラーメッセージのクリア

●本体で発生したエラーメッセージをクリアします。

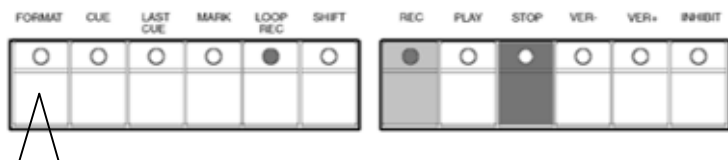
○VDRH-700 本体でエラーが発生した場合、Monitor Out(super)かHD-SDI Out2(super)に、エラーメッセージが表示されます。



○上記状態の時、FORMAT LED が点灯します。



① FORMAT ボタンを一度だけ押します。



○エラーメッセージがクリアされ FORMAT LED が消灯します。

○複数のエラーが同時に発生している、一つをクリアすると、再度、点灯しメッセージが表示されます。

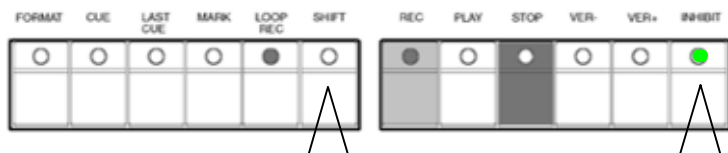
※長押しすると、ラストシーンの削除(もしくは、フォーマット)が行なわれる危険がありますのでご注意ください。

16. KEY INHIBIT / REC INHIBIT

○すべての操作、もしくは録画操作を無効にする機能です。

●KEY INHIBIT をかけます。全ての操作を無効にします。

① SHIFT ボタン+INHIBIT ボタンを押します。



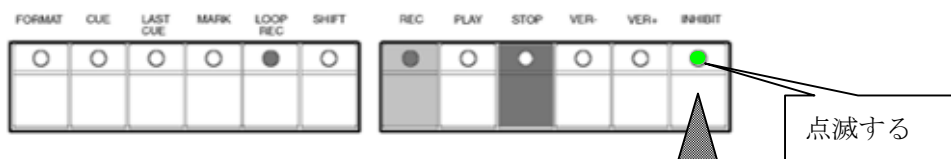
○INHIBIT LED が点灯します。

※メニュー操作は、この状態から行ないます。「本体メニュー操作」の項をご覧ください。

○その状態で、再度 SHIFT ボタン+INHIBIT ボタンを押すと、INHIBIT が解除されます。

●REC INHIBIT をかけます。収録を開始できなくなります。

① INHIBIT ボタンを、3 秒間長押しします。



○INHIBIT LED が点滅します。

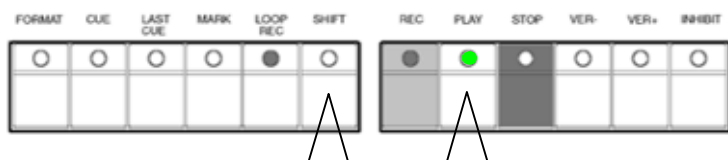
○この状態では、録画操作が無効になります。(SHIFT+REC 操作)

○その状態で、再度 INHIBIT ボタンを3秒間長押しすると、REC INHIBIT が解除されます。

17. 強制リブート

●再生側で送出映像に異常があった場合、強制リブートによりデコーダーのリセットをかけます。

① 再生中に、SHIFT ボタン+PLAY ボタンを押します。



○再生側で強制リブートがかかり、送出映像が1～2秒乱れます。

○リブートが完了すると、そのまま再生を続けます。

18. 本体メニュー操作



1.) メニューの表示方法

KEY INHIBIT 状態で、SHIFT + CUE ボタン を押すとメニューモードになります。

※MENU モードに入ると、基本動作に関する操作が全て不能になります。

※KEY INHIBIT のかけ方は、「KEY INHIBIT / REC INHIBIT」をご覧ください。

○USER MENU1 => ユーザーで設定する内容です。

○USER MENU2 => ユーザーで設定する内容です。

○ADMIN MENU => システム構築に関するメニューです。

○個体のシリアル番号が表示されます。

2.) ADMIN MENU の表示方法

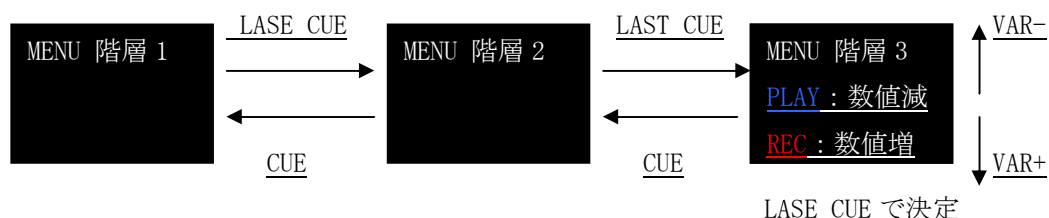
ADMIN MENU は、通常は表示されません。

ADMIN MENU を呼び出すには、「REC」「PLAY」「LAST CUE」の3つのキーを押したまま、本体を起動し、起動が完了するまで押し続けて下さい。

ADMIN MENU を呼び出して本体を起動した場合、本体を再起動するまで、非表示にすることは出来ません。

3.) 選択操作について

- プロンプトの下移動は VAR+キー、上移動は VAR-キー 選択したモードに入るのは LASE CUE キー
上の階層に戻るのは、CUE キーで行います。最下層での決定は LASE CUE キーで行います。
数値の増減設定のあるメニューでは、REC キーで数値増、PLAY キーで数値減します。



- メニューモードを抜けるには、MENU の TOP 画面で CUE ボタンを押します。

また、メニューモードのどの階層にいても、SHIFT ボタン + INHI ボタンを押すと、メニューモードから抜けると同時に、KEY INHIBIT も解除されます。

4.) 主なメニュー設定とその操作

1.) REF 設定

REF 信号を選択します。

「USER MENU 1 ⇒SYSTEM⇒SYNC TYPE」から設定して下さい。

2.) タイムコード設定

TIME CODE の外部 TC/内部 TC モードを切り替えます。

内部 TC モードの場合に、INTERNAL/FREERUN/REC RUN を切り替えます。

FREERUN/REC RUN の場合に、ドロップフレーム/ノンドロップフレームを切り変えます。

FREERUN/REC RUN の場合の PRESET TIME を設定します。

「USER MENU 2 ⇒TIME CODE⇒・・・」から設定して下さい。

<FREERUN/REC RUN の PRESET 方法>

「USER MENU 2 ⇒TIME CODE⇒PRESET TIME」から設定します。

数字が表示されているところに、任意の TC を入力し(入力方法は、前頁をご覧ください。)、 “SET” にプロンプトを合わせて LAST CUE ボタンを押下します。

<Internal の PRESET 方法>

INTERNAL モードの TC は、本機内部時計 (REAL TIME CLOCK) を

使用しています。従って、内部時計の年月日と時刻で変更 (プリセット) します。

「ADMIN MENU⇒SYSTEM 1 ⇒DATE TIME」から VDRH の内部時計を設定します。

「USER MENU 2 ⇒TIME CODE⇒TIME CODE MODE」を、“Internal” に設定します。

(先に “Internal” になっていた場合、一度別のモードを選択(プロンプトを合わせて Last CUE 押下)した後、再度 “Internal” に設定して下さい。)

この時計は、ログの時間としても使用していますので、本体の設置直後に設定し、その後は、変更されないことを推奨します。

3.) HD-OSD 表示設定

HD-SDI OUT 2 (Super) に表示される内容を設定します。

表示 CH (REC UNIT/PLAY UNIT) の切り替えや、大きさ、位置などもこのメニューから設定します。

「USER MENU 1 ⇒SYSTEM⇒HD OSD DISPLAY #」から設定して下さい。

4.) SYSTEM PHASE の設定

SYSTEM PHASE をライン単位・クロック単位で調整できます。

「USER MENU 1 ⇒PB MODE 1 ⇒SYSTEM PAHSE」から設定して下さい。

5.) コンプレス

シーン単位で収録素材を削除し、その領域を新たな収録用の空き領域にするための操作です。

「USER MENU 1 ⇒DISK⇒DELETE SELECT」から、不要なシーンを選択します。

リストから、VAR- VAR+でシーン No. を選択し、LAST CUE キーの押下で、DELETE フラグのマーク、マーク解除を行います。フラグを立てると、“D” の表示になります。

このDマークがのがあるシーンが、コンプレスの対象となります。

「USER MENU 1 ⇒DISK⇒COMPRESS」を実行すると、不要なシーンが削除され、削除した分の記録可能時間が増えます。

※コンプレスは中断できませんので、実行する際は、作業時間に十分ご注意ください。

6.) Cue Up TC の検索方法の変更

422 コントローラなどから、Goto TC をする場合に、指定した TC を、

『先頭から (FROM FIRST) 検索するか』

『最後に再生した (Current) シーンから検索するか』を設定します。

「ADMIN MENU→MODE→CUE UP SCENE」で設定できます。

“FROM FIRST” に設定している時、同 TC が複数のシーンに存在する場合、一番シーン番号の小さいものに Cue Up されます。

7.) 422 からの STOP 動作の設定

422 コントローラから PB STOP/REC STOP の操作を行った時の動作を、次のように設定することが出来ます。

REC STOP について：

STOP (停止する)

IGNORE (操作を無視する)

PB STOP について：

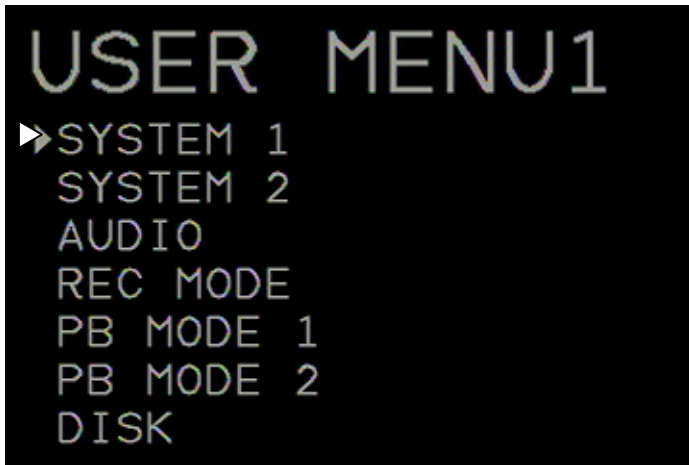
STILL (一時停止)

STOP (停止する)

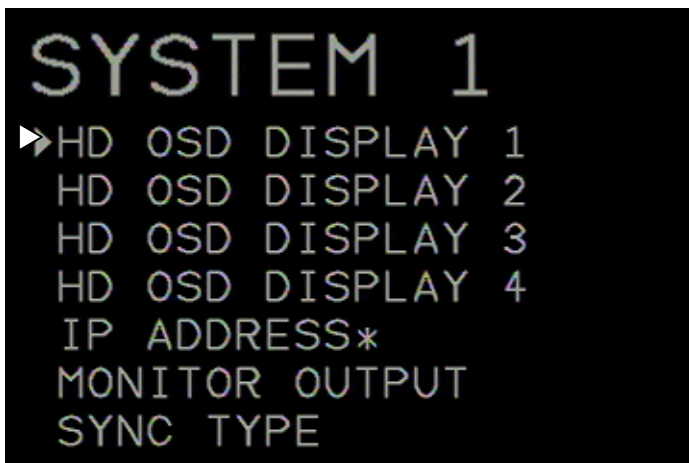
「USER MENU→REC MODE→RS422 REC STOP」 「USER MENU→PB MODE1→RS422 PB STOP」 から設定できます。

5.) USER MENU 1

●MAIN MENU から USER MENU1 選択 (プロンプト選択)、LAST CUE 押下で USER MENU1 になります。

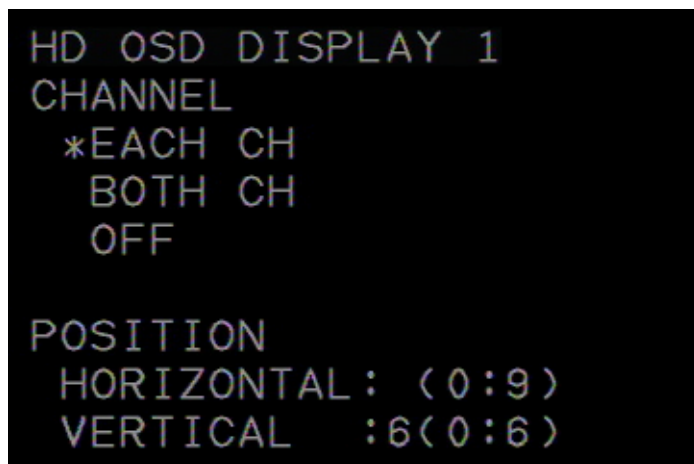


5.) - 1 USER MENU1 - SYSTEM1



5.) - 1. - 1 USER MENU - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 1

●HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の設定をします。

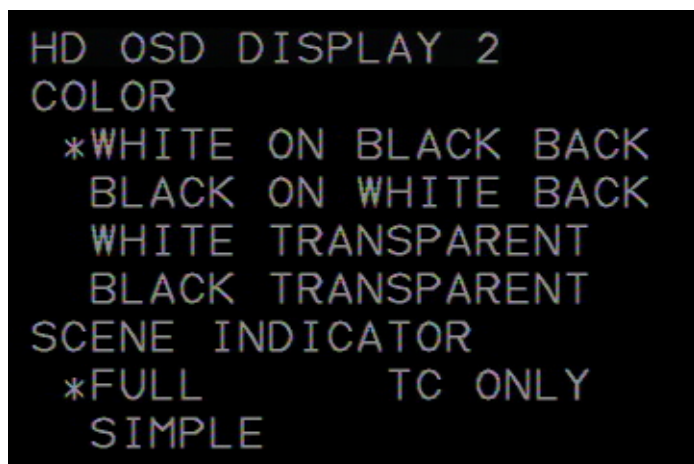


○CHANNEL => 記録、記録再生共、なしの設定です。なしの場合は送出として使用できます。

○POSITION => OSD を出す画面位置を指定します。(0,0)は左上隅です。

5.) - 1. - 2 USER MENU - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 2

●HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の文字、出力レイアウトを設定します。

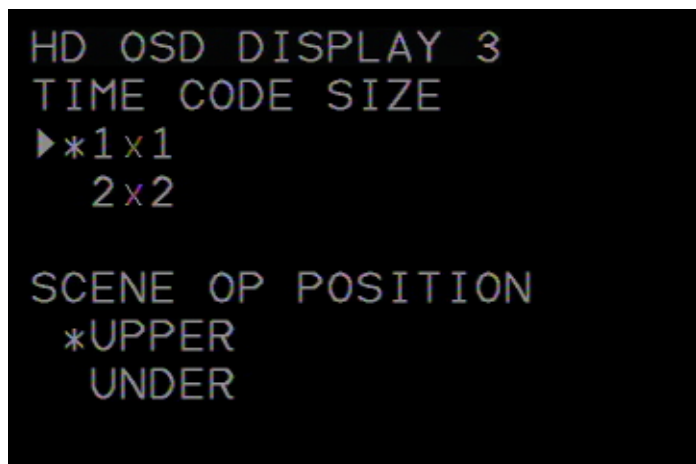


○COLOR => 黒バックに白文字、白バックに黒文字、透過バックで白文字、透過バックで黒文字が選択できます。

○SCENE INDICATOR => 全て、TC のみ、一部だけ表示の選択ができます。

5.) - 1. - 3 USER MENU1 - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 3

●HD SDI (SUPER) 出力の OSD (ON SCREEN DISPLAY) の TC の文字の大きさと、インジケータの位置を設定します。

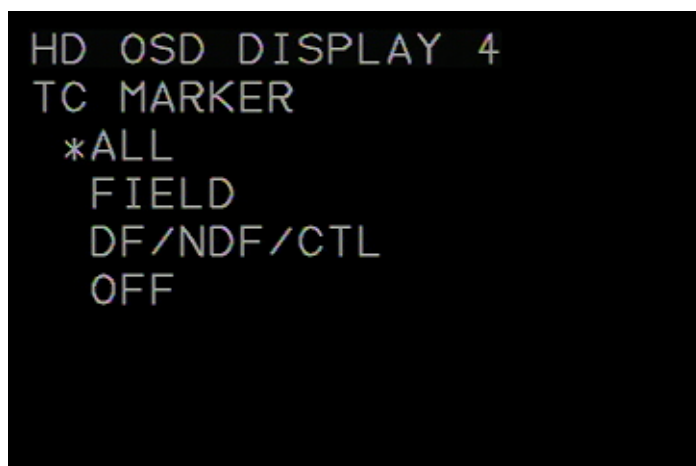


○TIME CODE SIZE => 1×1 : 通常の大きさです。 2×2 : 縦横 2 倍の大きさです。

○SCENE OP POSITION => タイムコードの表示位置の上下を設定します。

5.) - 1. - 4 USER MENU1 - SYSTEM1 - HD OSD DISPLAY 4

●フィールドマーカの表示を指定します。



○ALL => 全て表示します。

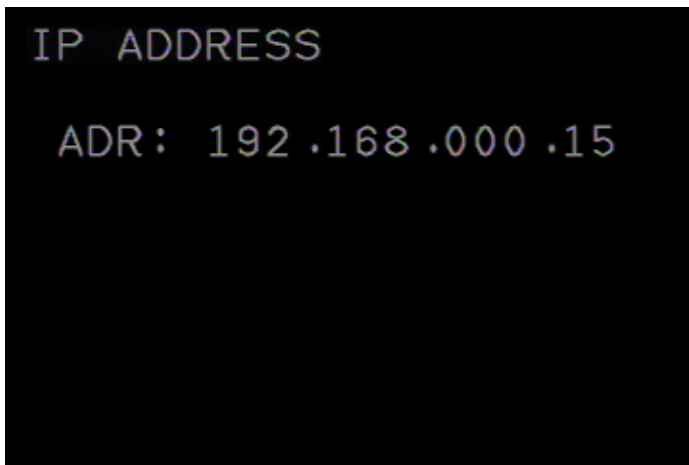
○FIELD => フィールドマーカを表示します。

○DF/NDF/CTL => ドロップフレーム、ノンドロップフレーム、シーティールを表示します。

○表示しません。

5.) - 1. - 5 USER MENU1 - SYSTEM1 - IP ADDRESS

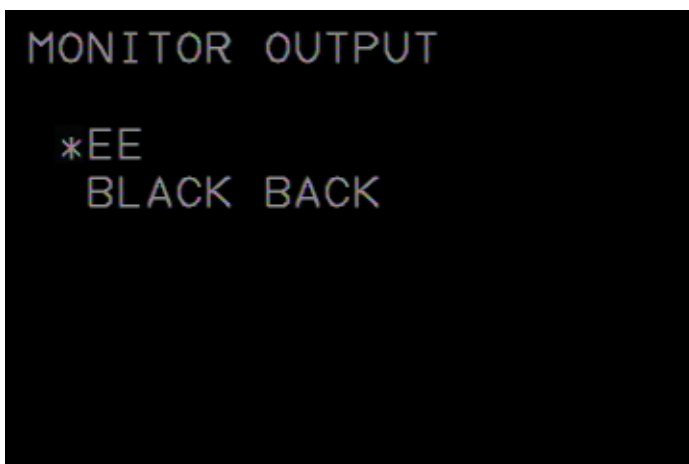
- 本体の IP アドレスを指定します。



- 設定範囲は、最下位 8 ビット部の 150～159 までです。
- REC キーで数値がインクリメント、PLAY キーで数値がデクリメントします。
- LAST CUE キーで確定、CUE キーで MAIN MENU を抜ける時に、電源を OFF するメッセージが表示されます。
- 電源再投入で新しい IP アドレスが有効になります。

5.) - 1. - 6 USER MENU1 - SYSTEM1 - MONITOR OUTPUT

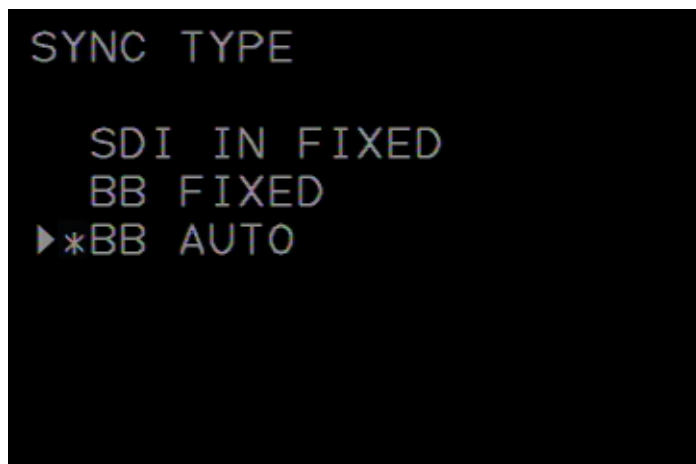
- 本体再生停止時に、HD-SDI OUT に何を出力するかを選択します。



- EE => HD-SDI 入力画像を出力します。
- BLACK BACK => 同相の黒画像を出力します。

5.) - 1. - 7 USER MENU1 - SYSTEM1 - SYNC TYPE

●外部リファレンスを選択します。



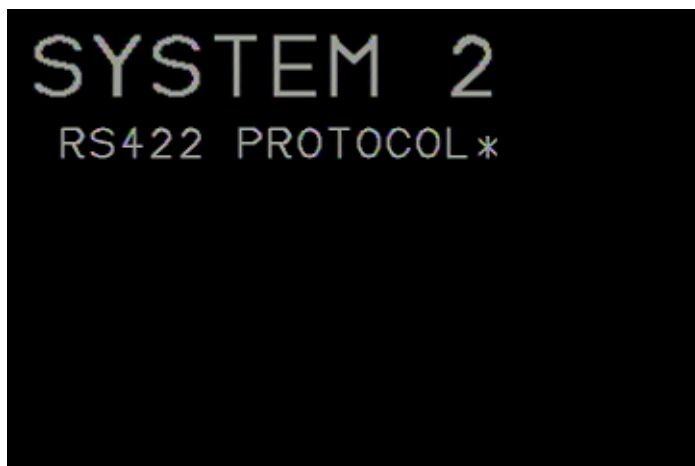
○SDI IN FIXED => 外部同期を持たない機器との接続にお使い下さい。SDI 入力にロックします。

○BB FIXED => BLACK BURST 信号のみにロックします。

○BB AUTO => BLACK BURST→SDI-IN →INTERNAL の順にロックします。

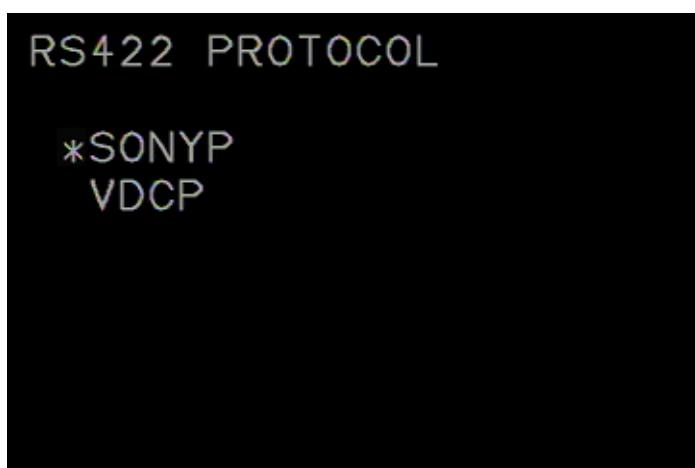
通常はこのモードでお使い下さい。

5.) - 2 USER MENU1 - SYSTEM2



5.) - 2. - 1 USER MENU1 - SYSTEM2 - RS422 PROTOCOL

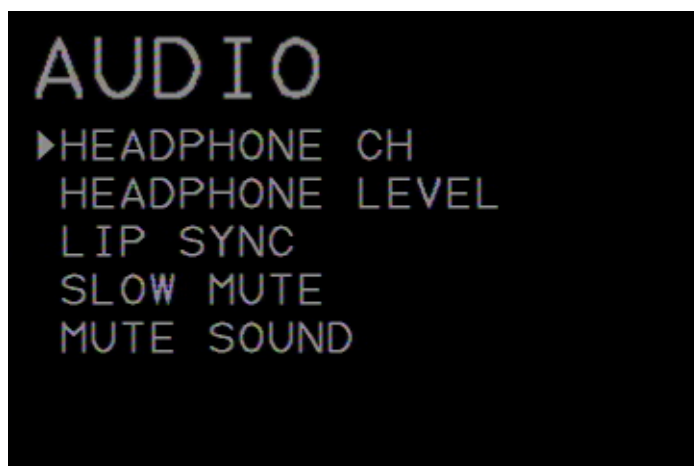
●9 ピンのプロトコルを選択します。



○SONYP => SONY PROTOCOL で制御します。

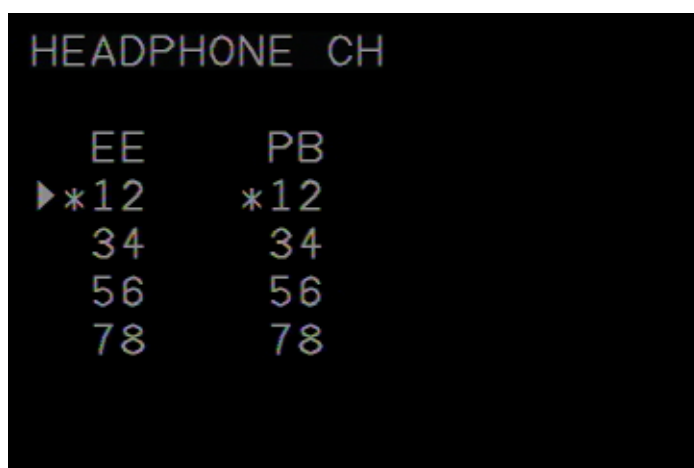
○VDCP => VDCP で制御します。

5.) - 3 USER MENU1 - AUDIO



5.) - 3. - 1 USER MENU1 - AUDIO - HEADPHONE CH

●フロントパネル右の PHONE 端子にどの音声を出力するかを設定します。

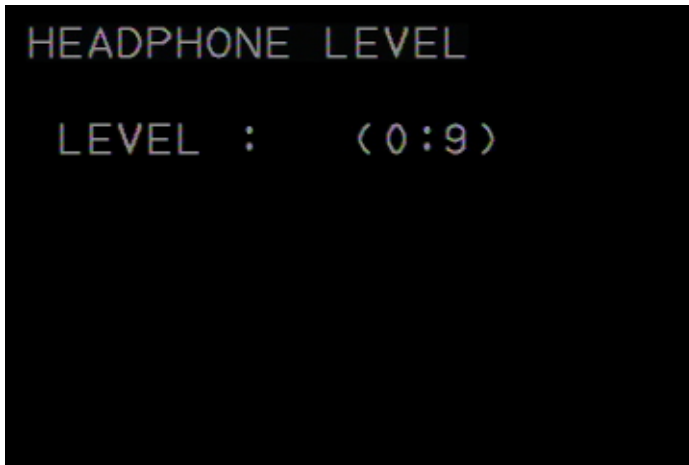


○EE の列 => 再生停止中に、Embedded Audio の 1/2 3/4 5/6 7/8 のいずれかを出力します。

○PB の列 => 再生中に、Embedded Audio の 1/2 3/4 5/6 7/8 のいずれかを出力します。

5.) - 3. - 2 USER MENU1 - AUDIO - HEADPHONE LEVEL

●HEAD PHONE の出力を設定します。

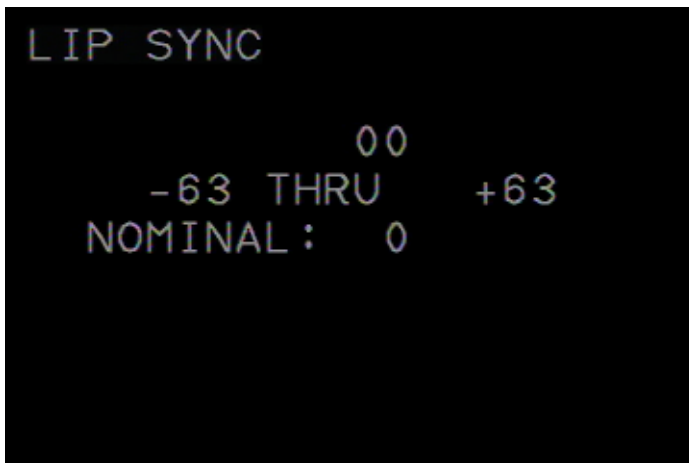


○REC キー(+) PLAY キー(-)で調整します。

※高い数値(5～9)は出力が高いため注意して下さい。

5.) - 3. - 3 USER MENU1 - AUDIO - LIP SYNC

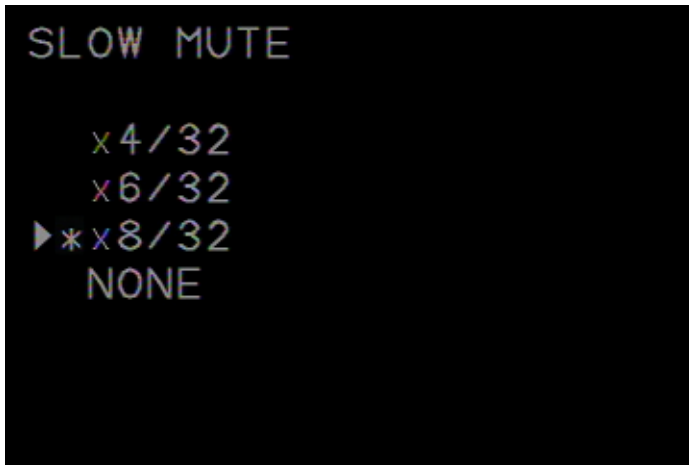
●映像と音声の再生時間を調整します。



○設定単位はフィールドです。1 フィールドは約 16.6msec です。

5.) - 3. - 4 USER MENU1 - AUDIO - SLOW MUTE

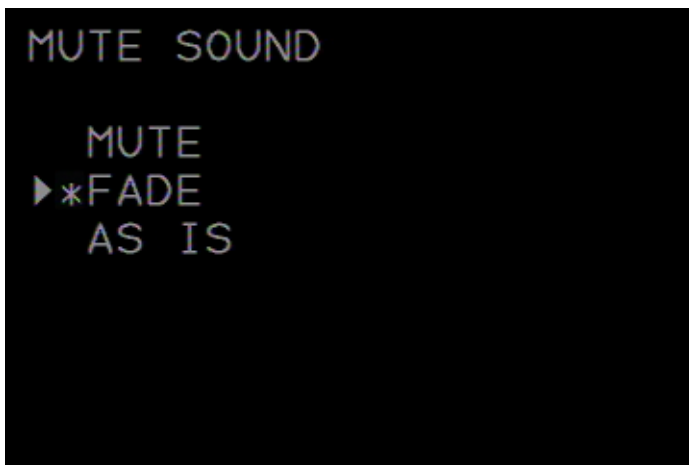
- スロー再生時、設定速度以下の場合音声を MUTE します。



- 上記設定例では、8/32(1/4)倍速以下の場合音声は、無音になります。

5.) - 3. - 5 USER MENU1 - AUDIO - MUTE SOUND

- スロー再生時、音声の立ち上がりを指定します。



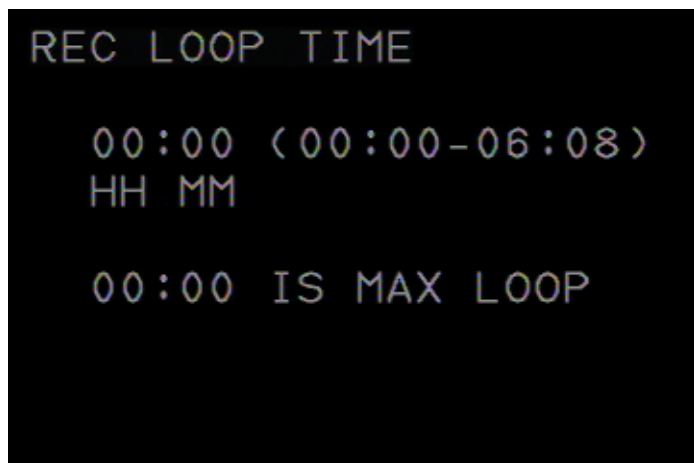
- MUTE => 立ち上がりを MUTE します。
- FADE =>立ち上がりを FADE します。
- AS IS => 加工せずにそのまま出力します。

5.) - 4 USER MENU1 - REC MODE



5.) - 4. - 1 USER MENU1 - REC MODE - REC LOOP TIME

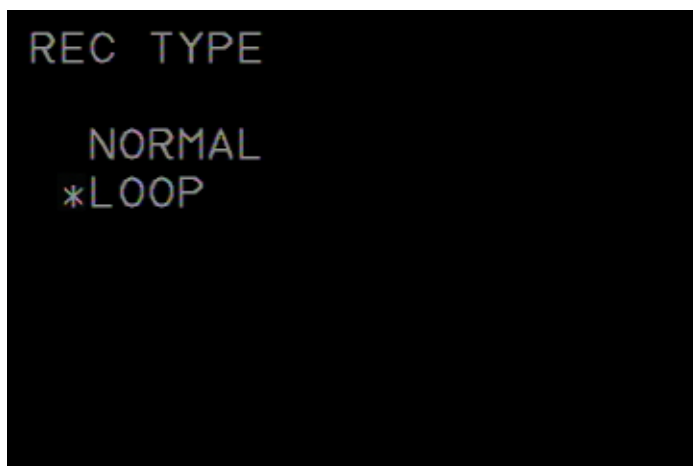
●ループ録画の折り返し時間を設定します。



○00:00 で最大時間（残時間全て）になります。

5.) - 4. - 2 USER MENU1 - REC MODE - REC TYPE

●これから録画するシーンの録画属性を設定します。

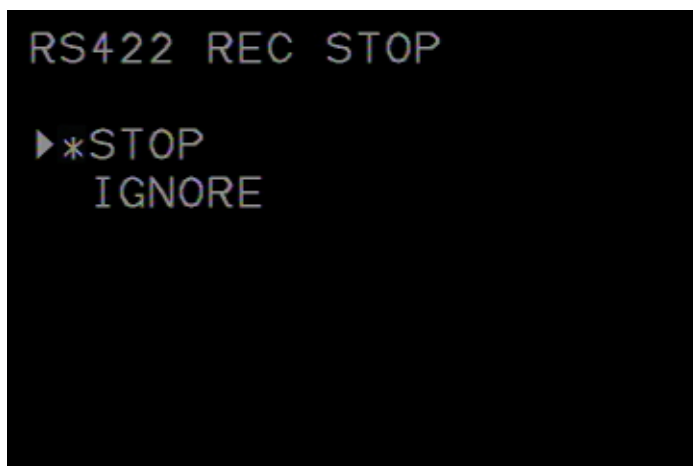


○NORMAL => 通常シーン。始点～終点まで。

○LOOP => REC LOOP TIME で指定された時間でループ録画をします。

5.) - 4. - 3 USER MENU1 - REC MODE - RS422 REC STOP

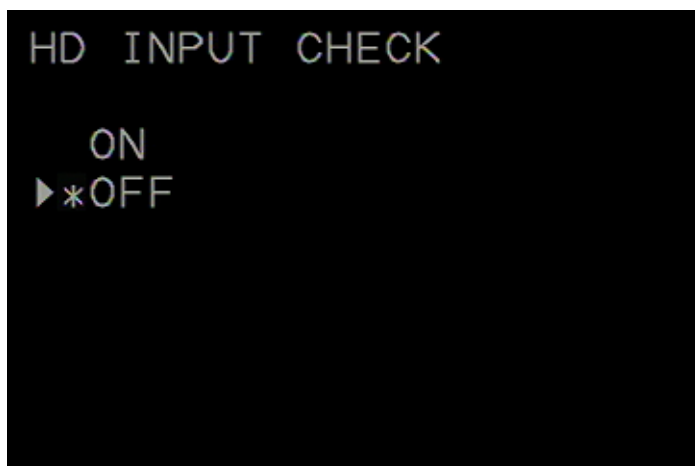
●コントローラからの STOP 命令を評価するかどうかの設定です。



○STOP => 422-1 にコントローラが接続されていて、STOP 命令がきた場合録画を停止します。

○IGNORE => 422-1 にコントローラが接続されていて、STOP 命令がきた場合録画を停止しません。

●入力信号を確認するかを指定します。

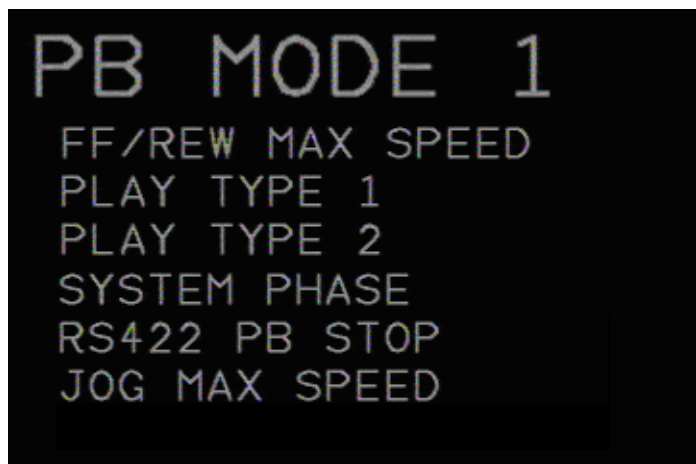


REC ボタン押下による入力確認の際に、

○ON => NTSC、HD-SDI 信号ともに入力信号を出力します。

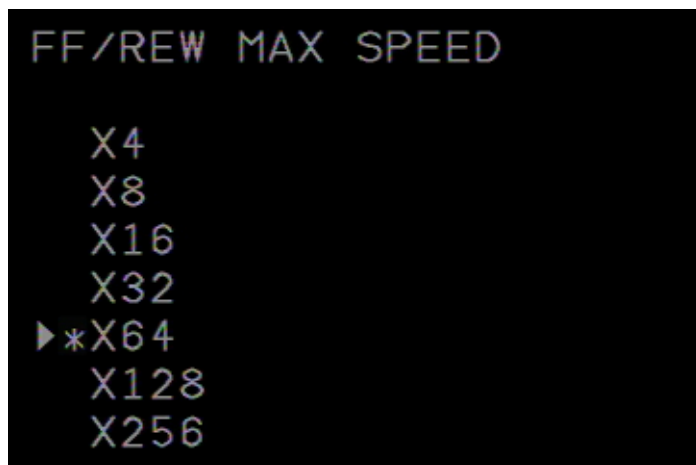
○OFF => NTSC は、入力信号を出力します。HD-SDI は、再生であれば、再生信号を出力します。

5.) - 5 USER MENU1-PB MODE 1



5.) - 5. - 1 USER MENU1 - PB MODE 1 - FF/REW MAX SPEED

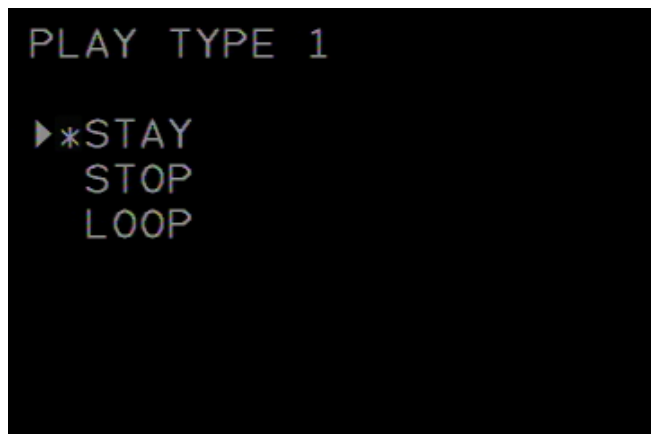
●コントローラから FF REW 命令がきた場合、速度をいくらにするかの設定です。



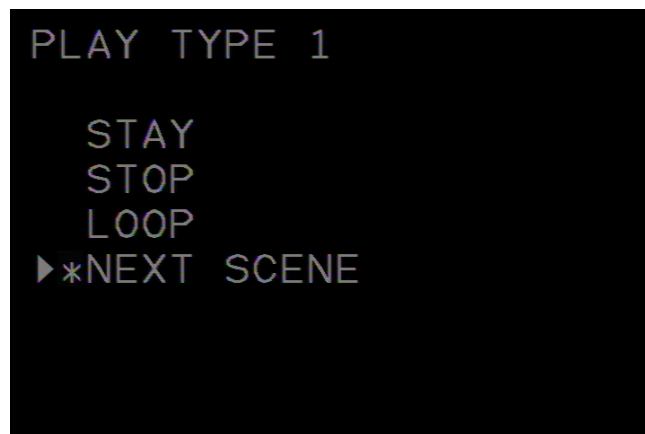
○ディスクシステムでは、高速の早送り、巻き戻しが可能です。

5.) - 5. - 2 USER MENU1 - PB MODE 1 - PLAY TYPE 1

- シーン再生時、終端での動作を指定します。



※標準版の場合



※TCC オプション搭載版の場合

○STAY => STILL します。

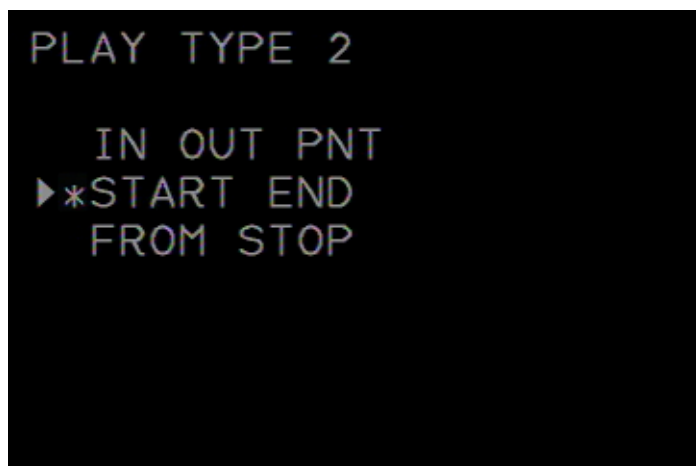
○STOP => 停止します。出力は MONITOR OUTPUT で指定します。(EE OR BLACK)

○LOOP => シーンの始めに戻ってシームレスに再生します。

○NEXT SCENE => 次のシーンをシームレスに再生します。

5.) - 5. - 3 USER MENU1 - PB MODE 1 - PLAY TYPE 2

- シーンの再生開始・終了点を指定します。



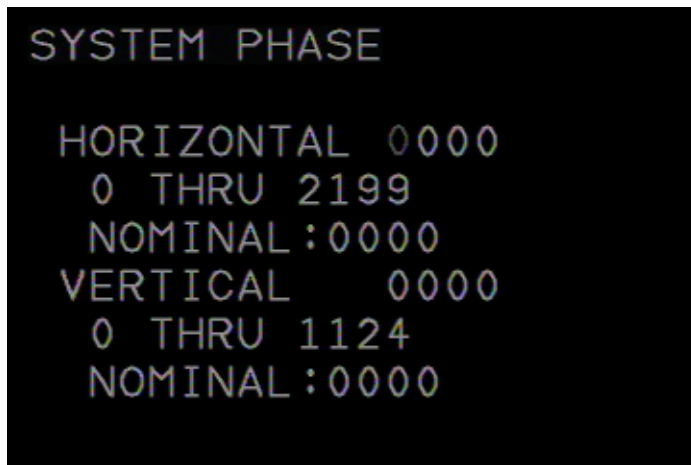
○IN OUT PNT => IN 点から OUT 点までを再生します。

○START END => シーン開始点からシーン終了点までを再生します。

○FROM STOP => 前回再生停止した地点から再生開始します。

5.) - 5. - 4 USER MENU1 - PB MODE 1 - SYSTEM PHASE

●システムフェーズの設定です。

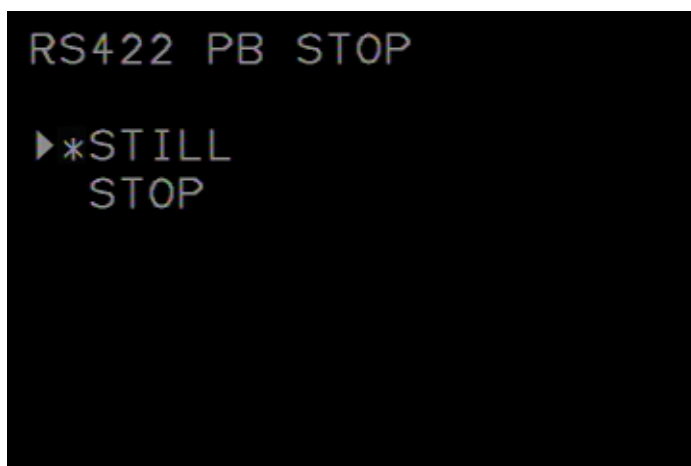


○HORIZONTAL => 水平方向のフェーズを調整します。単位はクロックです。

○VERTICAL => 垂直方向のフェーズを調整します。単位はラインです。

5.) - 5. - 5 USER MENU1 - PB MODE 1 - RS422 PB STOP

●422-2(再生チャンネル)で STOP 命令を受けた時の動作設定です。

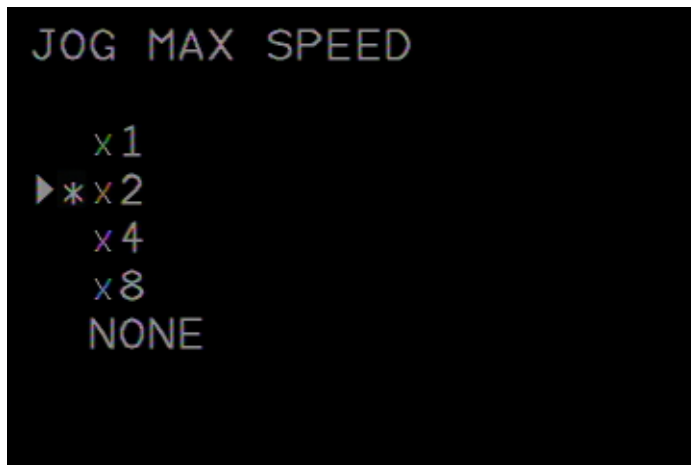


○STILL => 静止状態になります。

○STOP => 停止します。出力は MONITOR OUTPUT で指定します。(EE OR BLACK)

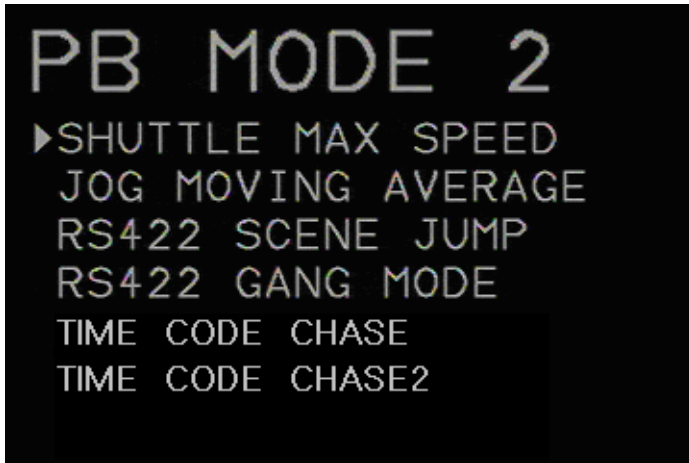
5.) - 5. - 6 USER MENU1 - PB MODE 1 - JOB MAX SPEED

●ジョグ操作での最大スピードを設定します。



○コントローラから設定以上のスピードが来ても、最大値に貼り付けます。

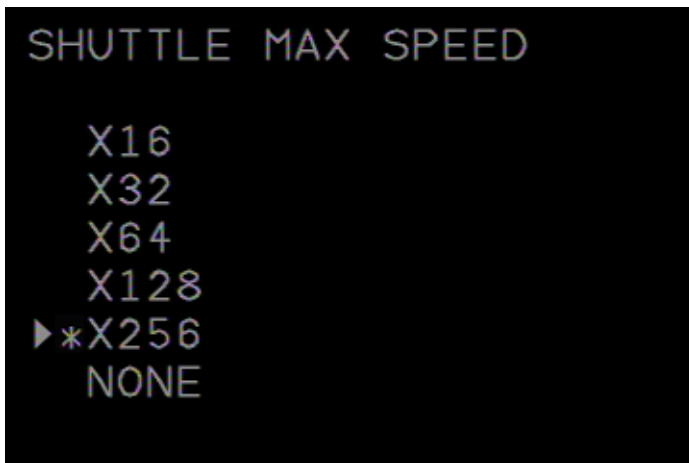
5.) - 6 USER MENU1 - PB MODE 2



※ 「TIME CODE CHASE」「TIME CODE CHASE2」メニューは、TCC オプションを適用されていない VDRH-700 シリーズでは、表示されません。

5.) - 6. - 1 USER MENU1 - PB MODE 2 - SHUTTLE MAX SPEED

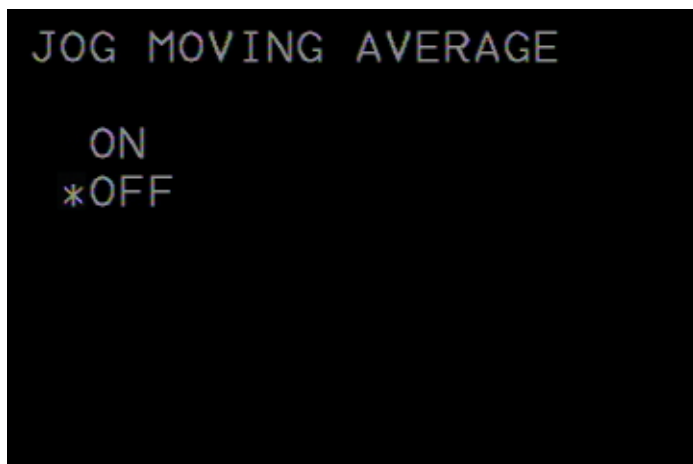
●シャトル操作での最大スピードを設定します。



○コントローラから設定以上のスピードが来ても、最大値に貼り付けます。

5.) - 6. - 2 USER MENU1 - PB MODE 2 - JOG MOVING AVERAGE

●ジョグのスピード命令を受けて、移動平均をとるか、とらないかの設定をします。

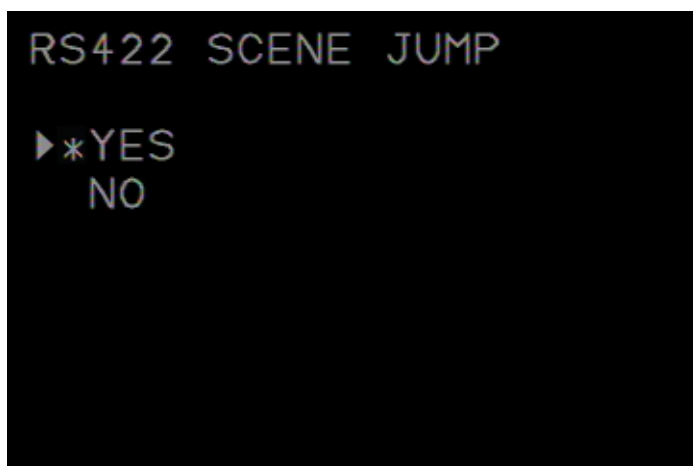


○短い間隔でスピード変化を送出するタイプのコントローラでは、動作が滑らかになります。

○スピード変化の送出力が長いタイプのコントローラでは OFF にして下さい。

5.) - 6. - 3 USER MENU1 - PB MODE 2 - RS422 SCENE JUMP

●シーン始点で REW、シーン終点で FF を受けた時にシーン移動を許可するかどうかの設定です。

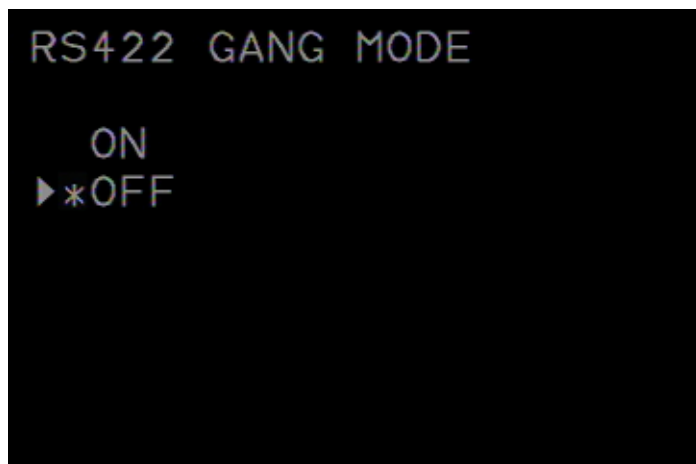


○YES => 使用します。シーン始点で REW を受けると一つ前のシーンの先頭に、シーン終点で FF をうけると次のシーンの先頭に移動 (STILL) します。

○NO => 使用しません。

5.) - 6. - 4 USER MENU1 - PB MODE 2 - RS422 GANG MODE

●コントローラのギャングモードに対応します。

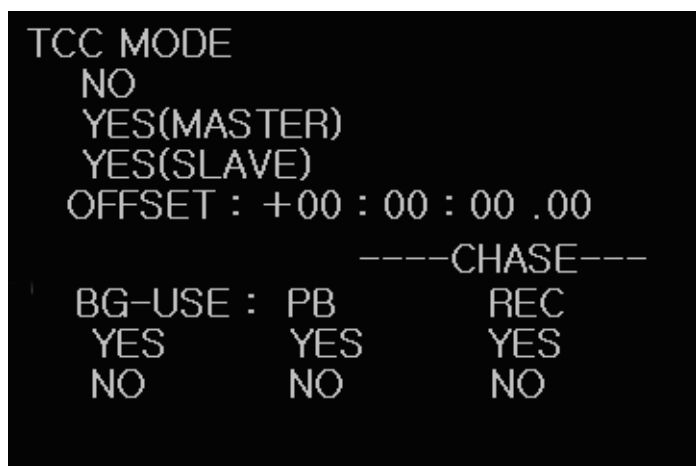


○ON => 複数台の VDRH-700 をギャングモード対応のコントローラに接続して、CUE UP (STILL) →PLAY
すると、同期再生ができます。

○OFF => 同期再生をサポートしません。

5.) - 6. - 5 USER MENU1 - PB MODE 2 - TCC MODE

●TIME CODE CHASE 機能の設定をします。(TCC 機能をご利用頂くには、別売オプションが必要です)



○TCC MODE

NO => TC CHASE の機能を使用しません。

YES (MASTER) => MASTER/SLAVE MODE での MASTER 機として動作します。

※GRADE2 版では、この項目は表示されません。

YES (SLAVE) => STAND ALONE MODE または、MASTER/SLAVE MODE での、SLAVE 機として動作します。

STAND ALONE MODE と MASTER/SLAVE MODE の切り替えは、後述の BG-USE の項目で設定します。

以下は、TCC MODE を “YES (SLAVE)” に設定した場合にのみ表示されます。

○OFFSET => TC CHASE 再生中に、指定した Frame を遅らせる/進ませる設定をします。

+で映像を進め、-で映像を遅らせます。単位はフレームです。

○BG-USE => バイナリグループのデータ領域を、TC CHASE 用に使用するかの設定をします。

YES にすると、MASTER/SLAVE MODE の SLAVE として動作します。

NO にすると、STAND ALONE MODE の SLAVE として動作します。

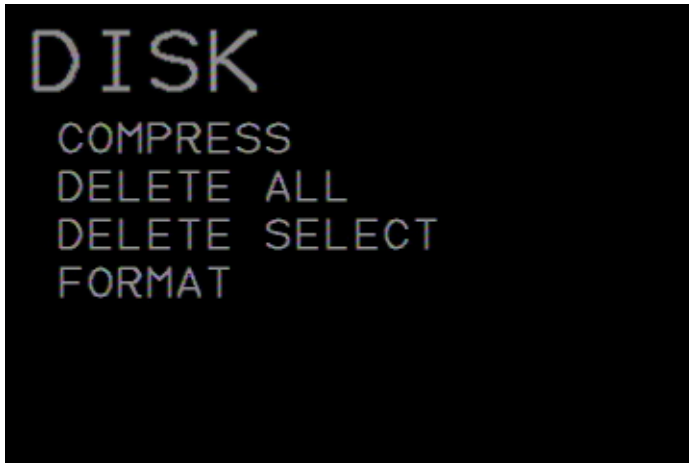
●PB (CHASE) => BG-USE を使用する場合に、設定可能です。

YES にすると、MASTER 機の再生に連動して、自動的に CHASE モードに入ります。

●REC (CHASE) => BG-USE を使用する場合に、設定可能です。

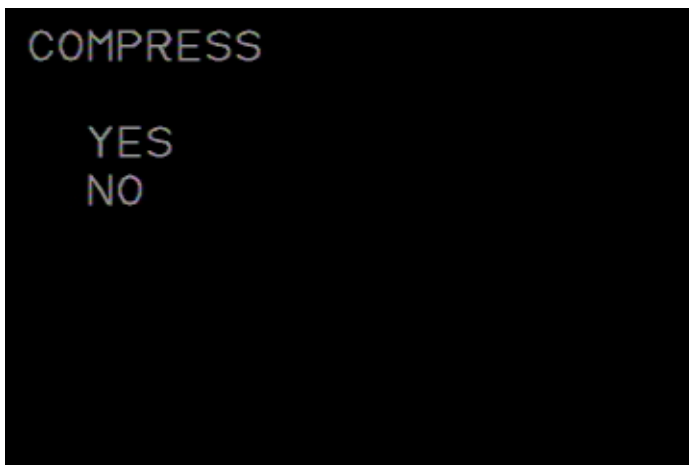
YES にすると、MASTER 機の収録開始に連動して、自動的に CHASE モードに入ります。

5.) - 7 USER MENU1 - DISK



5.) - 7. - 1 USER MENU1 - DISK - COMPRESS

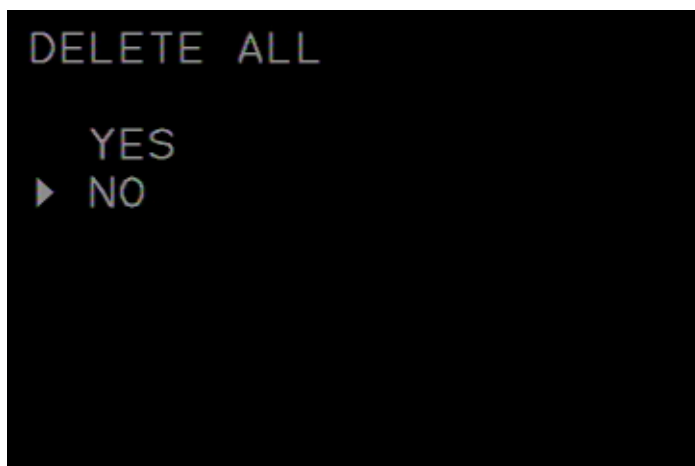
●コンプレスを実行します。



○コンプレスには、移動するシーンの実記録時間の 80%程度の時間を要します。

5.) - 7. - 2 USER MENU1 - DISK - DELETE ALL

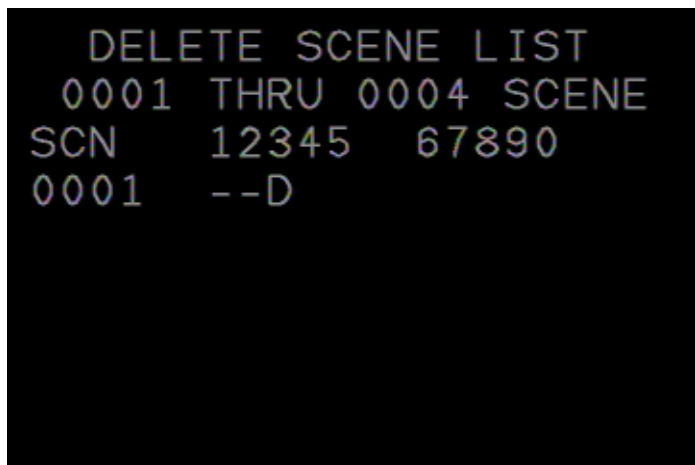
- 現在記録している全てのシーンにデリートマークを付けます。



- 全てのシーンを削除する場合は、本操作を行った後、COMPRESS を実行して下さい。
- 本操作後、DELETE SELECT でデリートマークの解除が行えます。

5.) - 7. - 3 USER MENU1 - DISK - DELETE SELECT

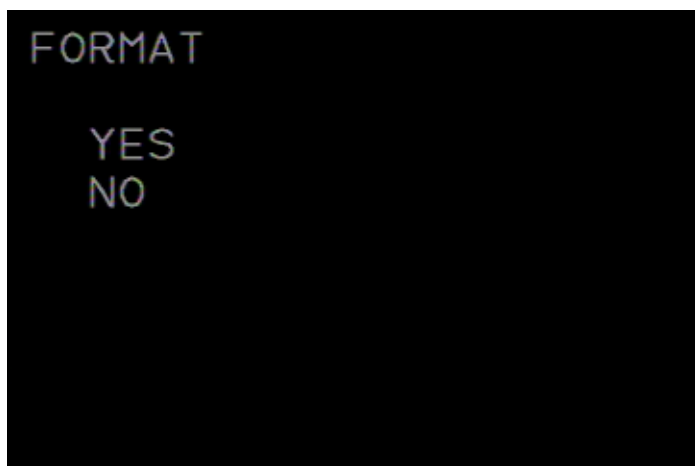
- 記録されている任意のシーンにデリートマークを付けます。



- LAST CUE キーのトグル動作でマーク、マーク解除を行います。
- VAR- VAR+キーでシーンの選択をします。
- 任意のシーンを削除する場合は、本操作を行った後、COMPRESS を実行して下さい。

5.) - 7. - 4 USER MENU1 - DISK - FORMAT

●ディスクをフォーマットします。全ての記録は消去されます。

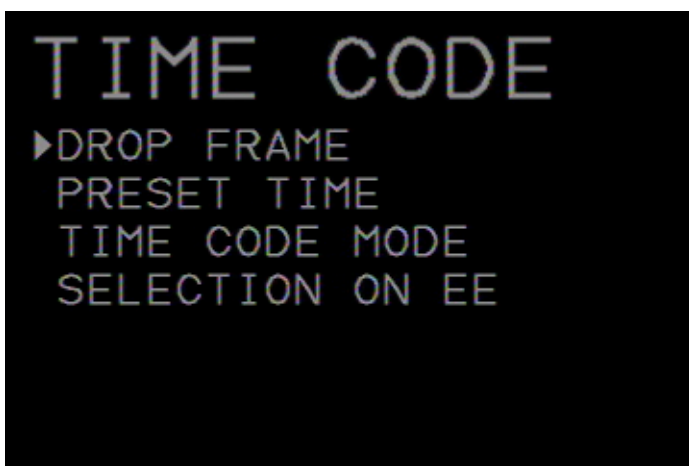


○全ての記録が消去されます。操作は慎重に行ってください。

6.) USER MENU2

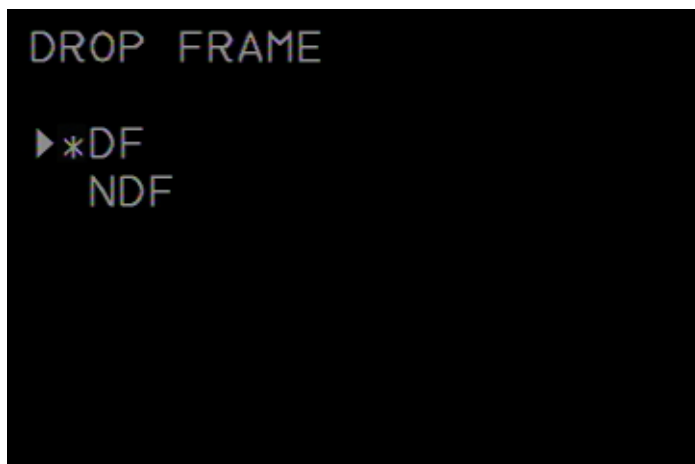


6.) - 1 USER MENU2 - TIME CODE



6.) - 1. - 1 USER MENU2 - TIME CODE - DROP FRAME

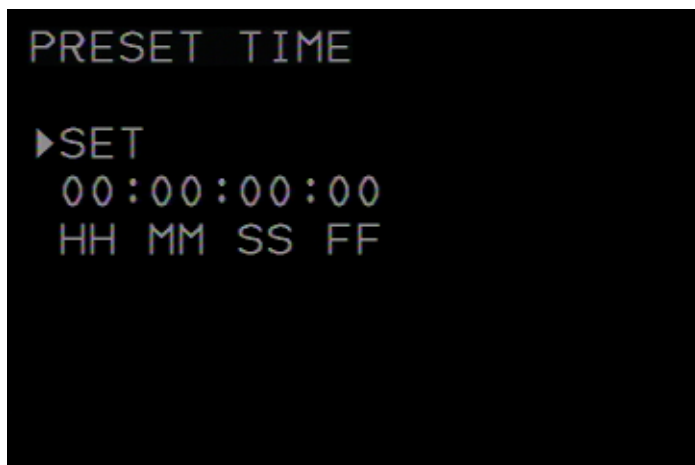
●DROP FRAME 、NNONDROP FRAME の設定を行います。



○設定に基づいて、タイムコードが記録されます。

6.) - 1. - 2 USER MENU2 - TIME CODE - PRESET TIME

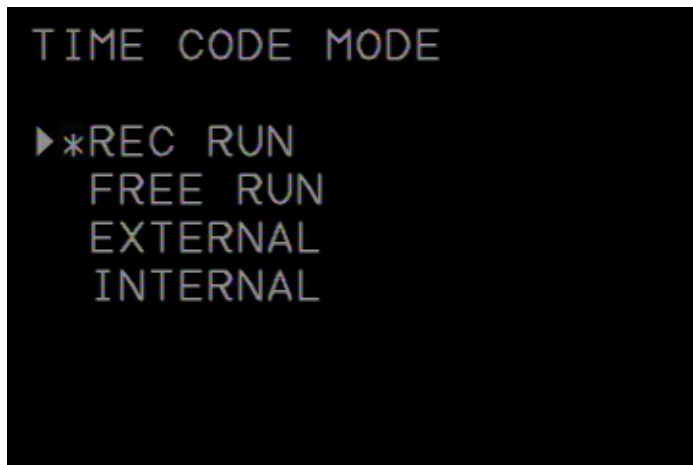
●タイムコードをプリセット（強制的に設定値にする）します。



○TIME CODE MODE が、FREE RUN、REC RUN の場合に有効です。

6.) - 1. - 3 USER MENU2 - TIME CODE - TIME CODE MODE

●タイムコードモードを選択します。



○REC RUN => プリセット値から、記録している場合のみ積算カウントします。

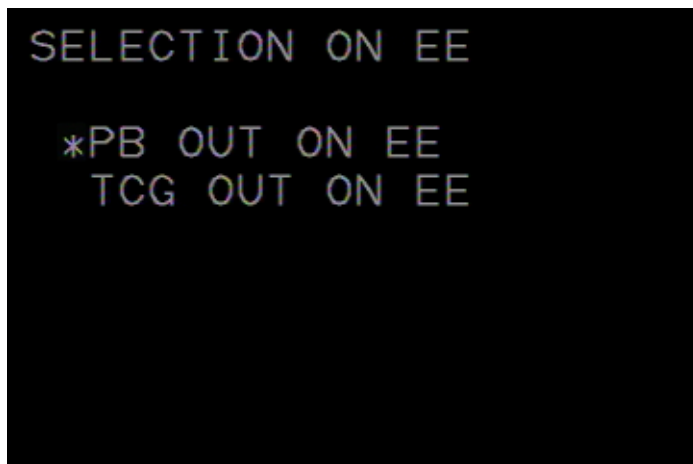
○FREE RUN => プリセット値から、積算カウントします。記録していない時もカウントします。

○EXTERNAL => 外部タイムコードを使用します。

○INTERNAL => 本体内蔵のリアルタイムクロックを使用します。

6.) - 1. - 4 USER MENU2 - TIME CODE - SELECTION ON EE

●EE 画面(入力があって、再生が停止している時)TIME CODE に何を出すかの設定。

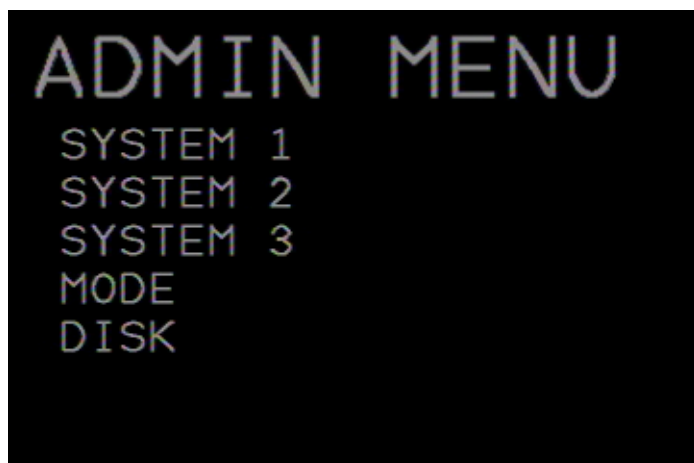


○PB OUT ON EE => 再生のタイムコードが出力されます。

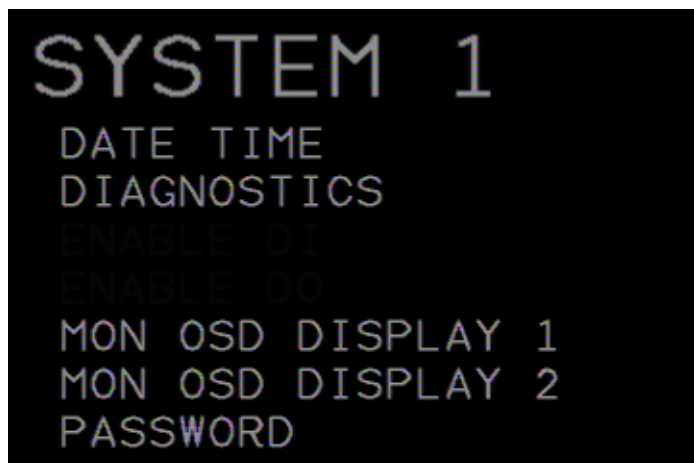
○TCG OUT ON EE => 入力されているタイムコードが出力されます。

7.) ADMIN MENU

●アドミニストレータ（管理者）専用メニューです。

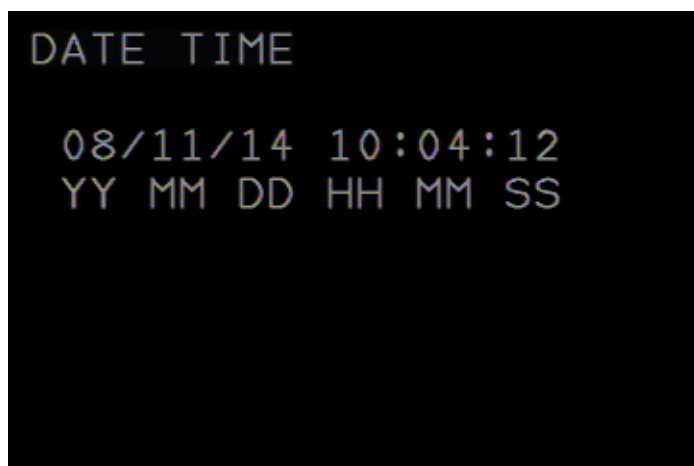


7.) - 1 ADMIN MENU - SYSTEM1



7.) - 1. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM1 - DATE TIME

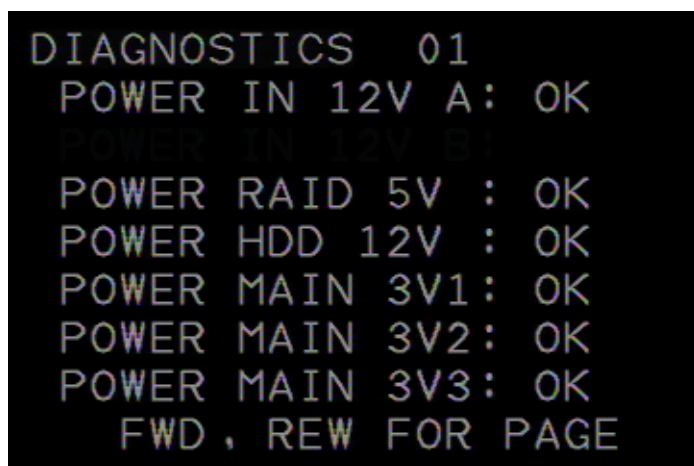
●内蔵リアルタイムクロックを合わせます。



○REC キーで数値+、PLAY キーで数値-、VAR+キーで項目右移動、VAR-キーで項目左移動

7.) - 1. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM1 - DIAGNOSTICS

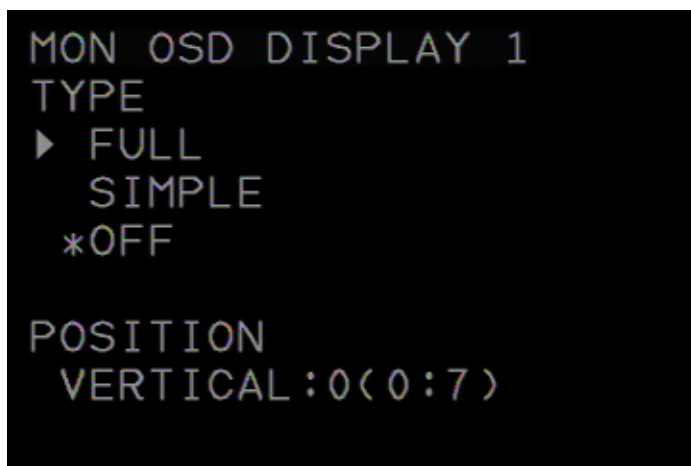
●自己診断の結果表示です。



○電圧、温度、ハードウェアの装着状態、ディスク状態などが表示されます。

7.) - 1. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM1 - MON OSD DISPLAY 1

●NTSC モニタの表示設定です。



○TYPE FULL => 全ての情報を表示します。

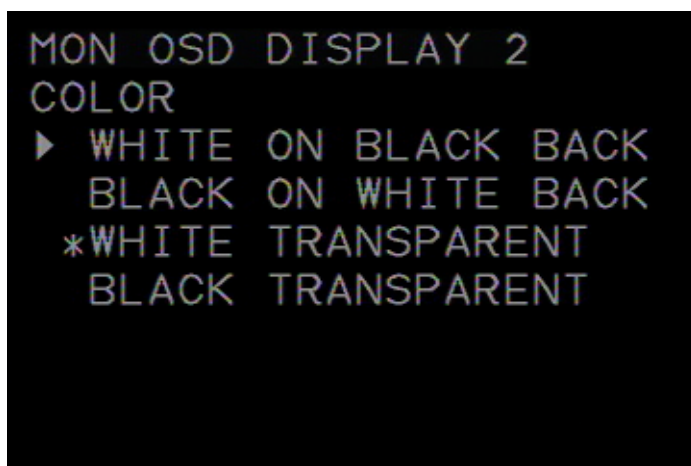
○TYPE SIMPLAE => 再生状態、現在の選択シーン、タイムコードのみ表示します。

○TYPE OFF => 何も表示しません。画像をキャプチャーする場合は、このモードでお使い下さい。

○POSITION => 垂直表示位置を調整します。

7.) - 1. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM1 - MON OSD DISPLAY 2

●NTSC モニタの表示文字の設定です。



○WHITE ON BLACK BACK => 黒バックに白文字

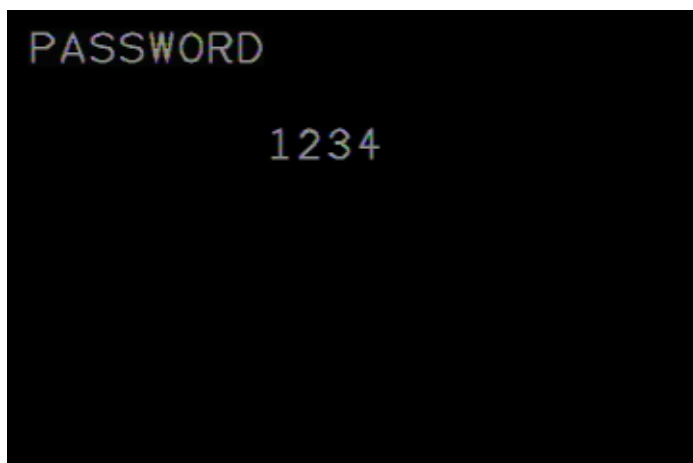
○BLACK ON WHITE BACK => 白バックに黒文字

○WHITE TRANSPARENT => 白透過文字

○BLACK TRANSPARENT => 黒透過文字

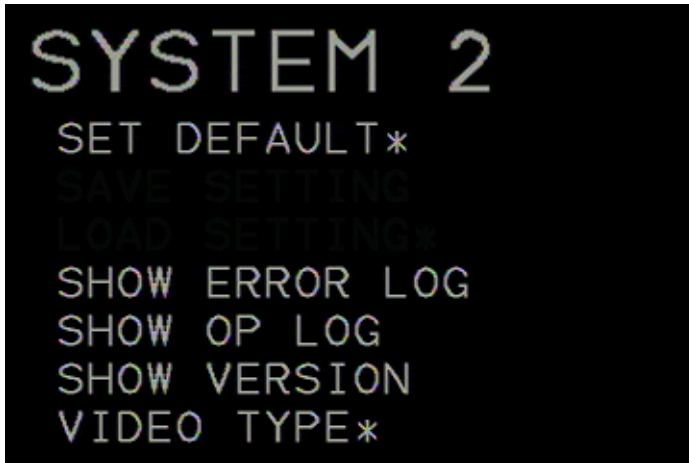
7.) - 1. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM1 - PASSWORD

●TCP/IP でアプリケーションと通信をする場合のパスワードを設定します。



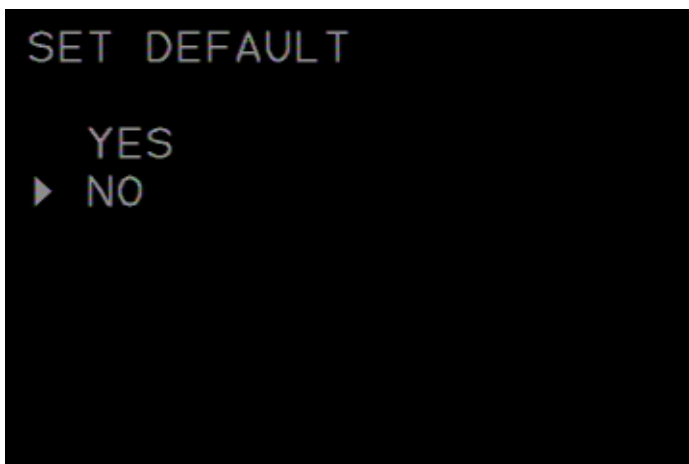
○REC キーで数値+、PLAY キーで数値-、VAR+キーで項目右移動、VAR-キーで項目左移動

7.) - 2 ADMIN MENU - SYSTEM2



7.) - 2. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SET DEFAULT

●工場出荷時設定に戻します。記録された映像はそのままです。



○選択後は、電源の再投入が必要です。

7.) - 2. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW ERROR LOG

- エラーログを表示します。

```
SHOW ERROR LOG NO.0001
YYMMDD HHMMSS SSJJNNNN
081114 093313 03040015
081111 150948 03040015
081111 150948 03040015
081108 153358 03040027
081108 153358 03040026
081108 120130 02040007
▶FWD/REW ,MENU FOR EXIT
```

- 発生日、発生時刻、エラー内容の順に表示します。
- エラー内容については、別紙エラーコード表を参照して下さい。

7.) - 2. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW OP LOG

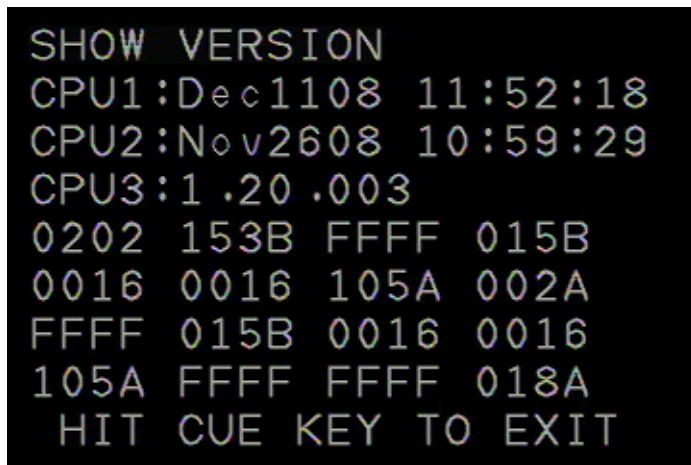
- オペレーションログを表示します。

```
SHOW OP LOG       NO.0001
YYMMDD HHMMSS SSCC00II
081114 100553 01043048
081114 100545 01043047
081114 100534 01043046
081114 100521 01043045
081114 100508 01043038
081114 100502 01043038
▶FWD/REW ,MENU FOR EXIT
```

- 操作日、操作時刻、操作内容の順に表示します。
- 操作内容については、別紙 OP コード表を参照して下さい。

7.) - 2. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM2 - SHOW VERSION

●ファームウェアのバージョンを表示します。

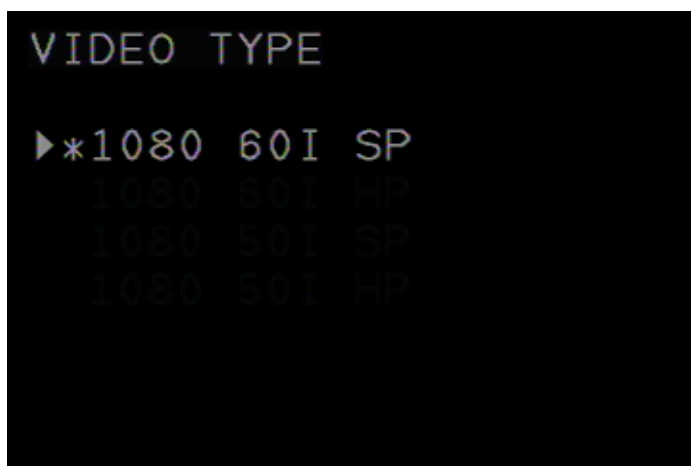


SHOW VERSION
CPU1:Dec1108 11:52:18
CPU2:Nov2608 10:59:29
CPU3:1.20.003
0202 153B FFFF 015B
0016 0016 105A 002A
FFFF 015B 0016 0016
105A FFFF FFFF 018A
HIT CUE KEY TO EXIT

○メンテナンス専用です。

7.) - 2. - 5 ADMIN MENU - SYSTEM2 - VIDEO TYPE

●ビデオタイプを選択します。

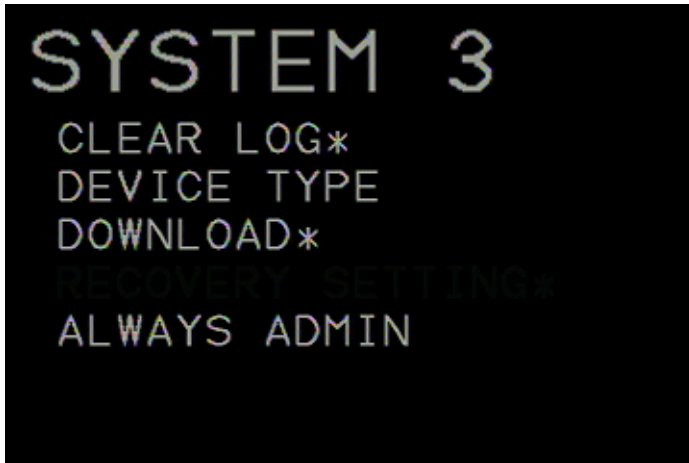


VIDEO TYPE
▶*1080 60I SP
1080 60I HP
1080 50I SP
1080 50I HP

○1080/60i (59.94i) が選択されています。

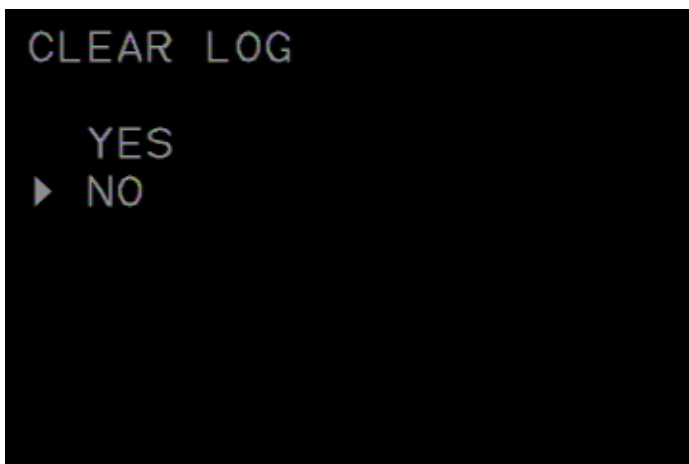
○1080/50i 720P 対応予定です。

7.) - 3 ADMIN MENU - SYSTEM3



7.) - 3. - 1 ADMIN MENU - SYSTEM3 - CLEAR LOG

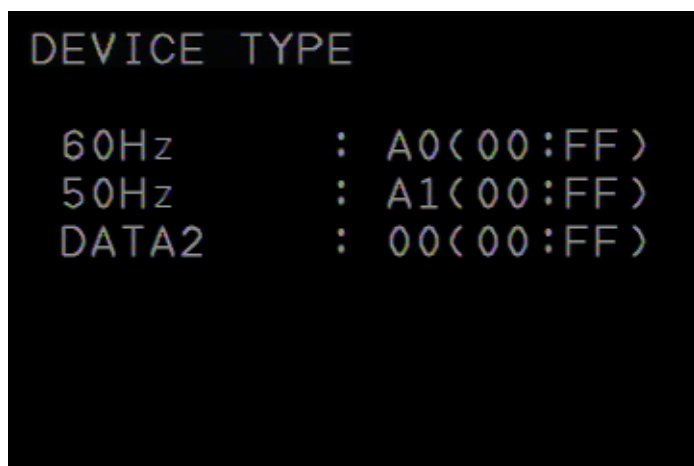
●エラーログ、オペレーションログをクリアします。



○クリア後は、電源の再投入が必要です。

7.) - 3. - 2 ADMIN MENU - SYSTEM3 - DEVICE TYPE

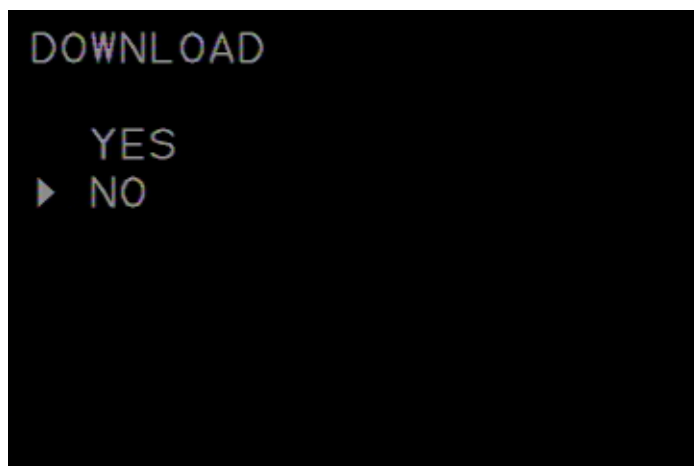
●SONY 製コントローラが認識する、本機のデバイスタイプを指定します。



○最適化されています。ビデオレコーダの設定にすると、本機的能力を損なうことがあります。

7.) - 3. - 3 ADMIN MENU - SYSTEM3 - DOWNLOAD

●ファームウェアをイーサネットから更新します。

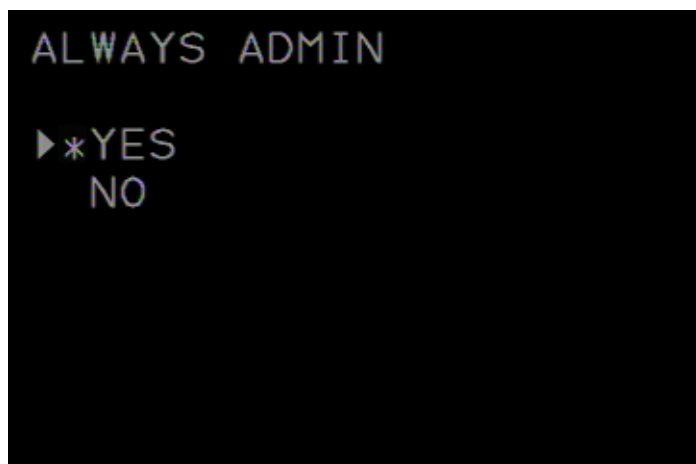


○専用ソフトウェアが必要です。

○管理者専用です。

7.) - 3. - 4 ADMIN MENU - SYSTEM3 - ALWAYS ADMIN

- 立ち上げ時に「REC」「PLAY」「LAST CUE」の3つ押しで ADMIN メニューが出現します。
- 毎回上記操作をしたくない場合、ALWAYS ADMIN を YES にしておけば、ADMIN MENU が表示されます。



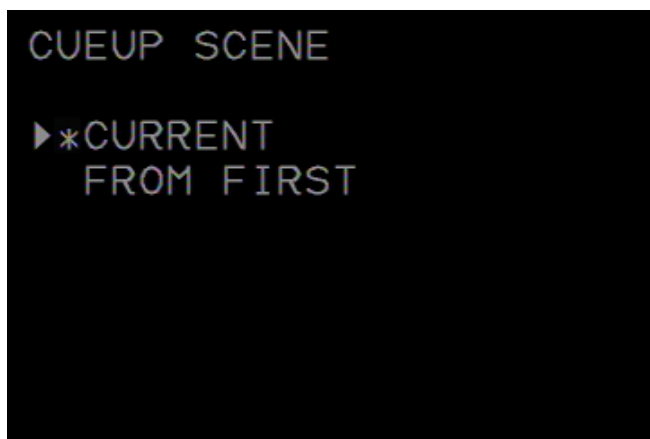
○管理者専用です。

7.) - 4 ADMIN MENU - MODE

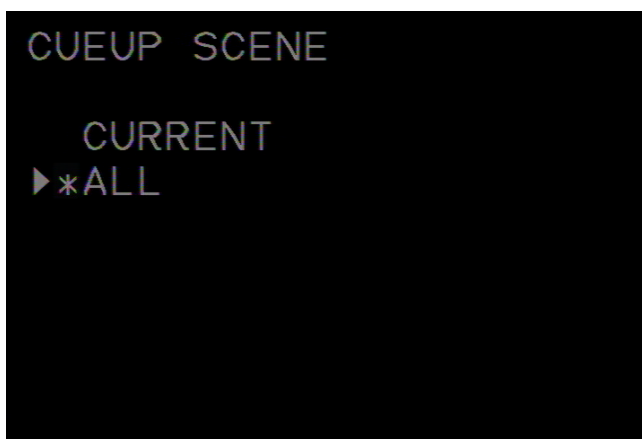


7.) - 4. - 1 ADMIN MENU - MODE - CUEUP SCENE

●CUE UP 動作をどのように行うかを指定します。



※標準版の場合



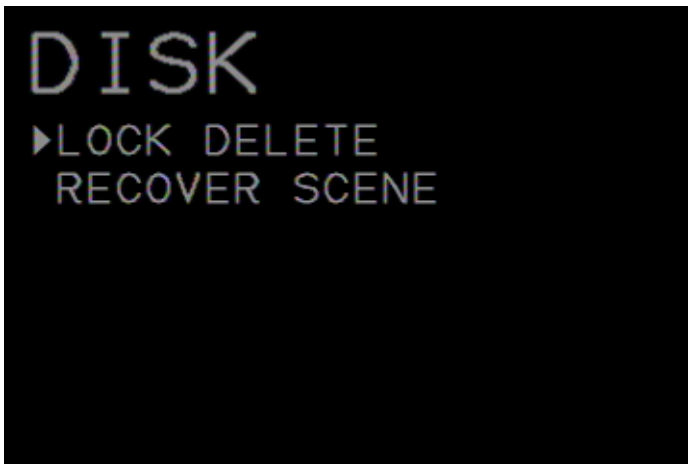
※TCC オプション搭載版の場合

○CURRENT => 現在再生で選択されているシーンを探して CUE UP します。

○FROM FIRST => シーン 0001 から該当する TC を探して CUE UP します。最初に見つけた TC で STILL します。

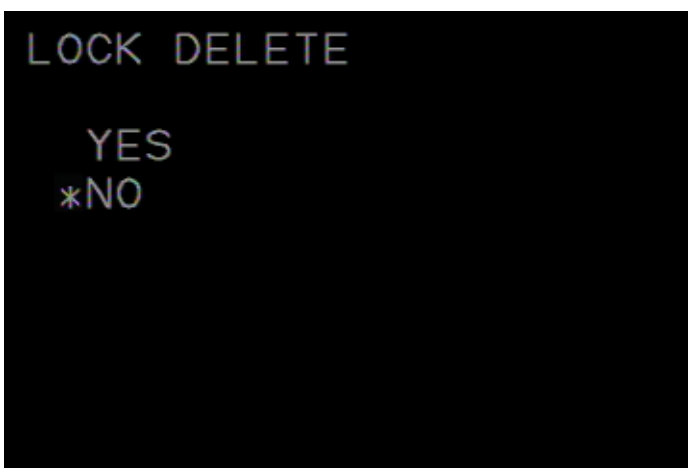
○ALL => カレントシーンを検索し、見つからなければ次のシーン、その次のシーン、・・・最後のシーン、最初のシーン、2番目のシーン、カレントシーンの1つ手前の順に検索を行います。見つからなければ、最後に再生したフレームで Still します。

7.) - 5 ADMIN MENU - DISK



7.) - 5. - 1 ADMIN MENU - DISK - LOCK DELETE

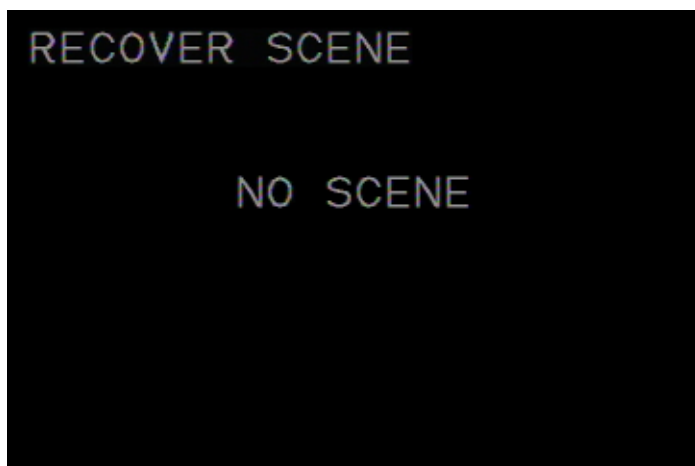
●デリートマークの操作を不能にします。



○大切なシーンを保護する場合等に使用します。

7.) - 5. - 2 ADMIN MENU - DISK - RECOVER SCENE

●再生不能な画像を含むシーンを可能な限り修復します。



○修復する対象シーンは、再生で選択されているシーンとなります。

19. タイムコードチェイスモードについて（別売オプション）

TC CHASE(タイムコードチェース)は、RS-422 や Ethernet 等の外部コマンドを利用するのではなく、他の機器から受信したタイムコードソースに追従して、記録されている映像素材を再生する同期再生機能です。

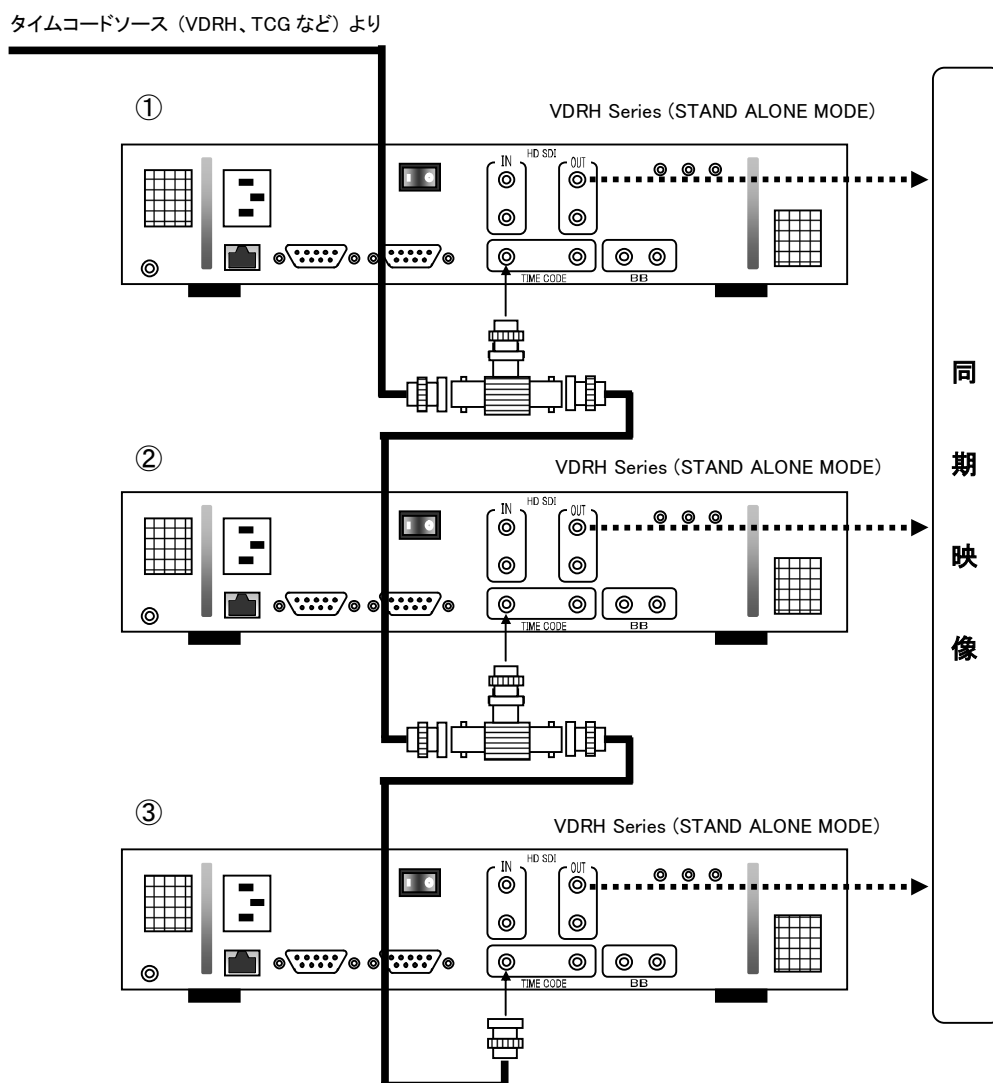
TC CHASE 機能の仕様や制限、注意事項などは、別冊の「VDRH Series タイムコードチェイス 仕様書」を、必ずご参照の上ご利用下さい。ここでは、簡単な設定項目と、操作方法などを記します。

1.) STAND ALONE MODE

STAND ALONE MODE は、下図のように構成し、全ての VDRH(①②③)が STAND ALONE MODE で動作し、TCG などのタイムコードソースより送出されるタイムコードに同期して全ての VDRH の映像が出力されます。この場合、全ての VDRH(①②③)は TC CHASE のスレーブ※¹として動作します。

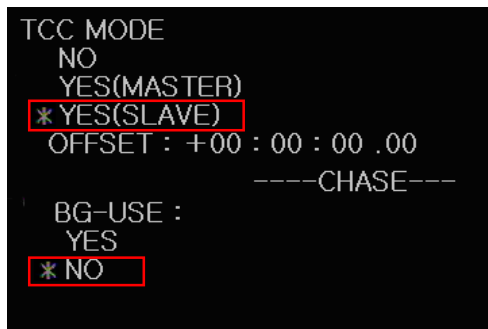
STAND ALONE MODE は、タイムコードソースとして、VDRH の他に TCG(タイムコードジェネレータ)などの汎用装置を使用することが出来ます。

接続例)



●STAND ALONE MODE の設定

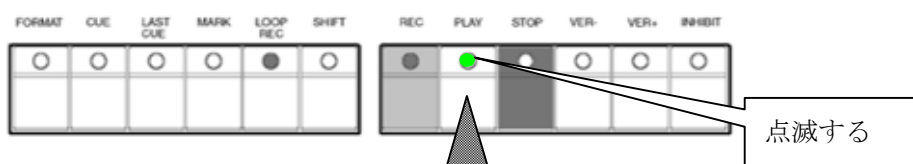
USER MENU1 - PB MODE 2 - TCC MODE



OTCC MODE => YES(SLAVE)

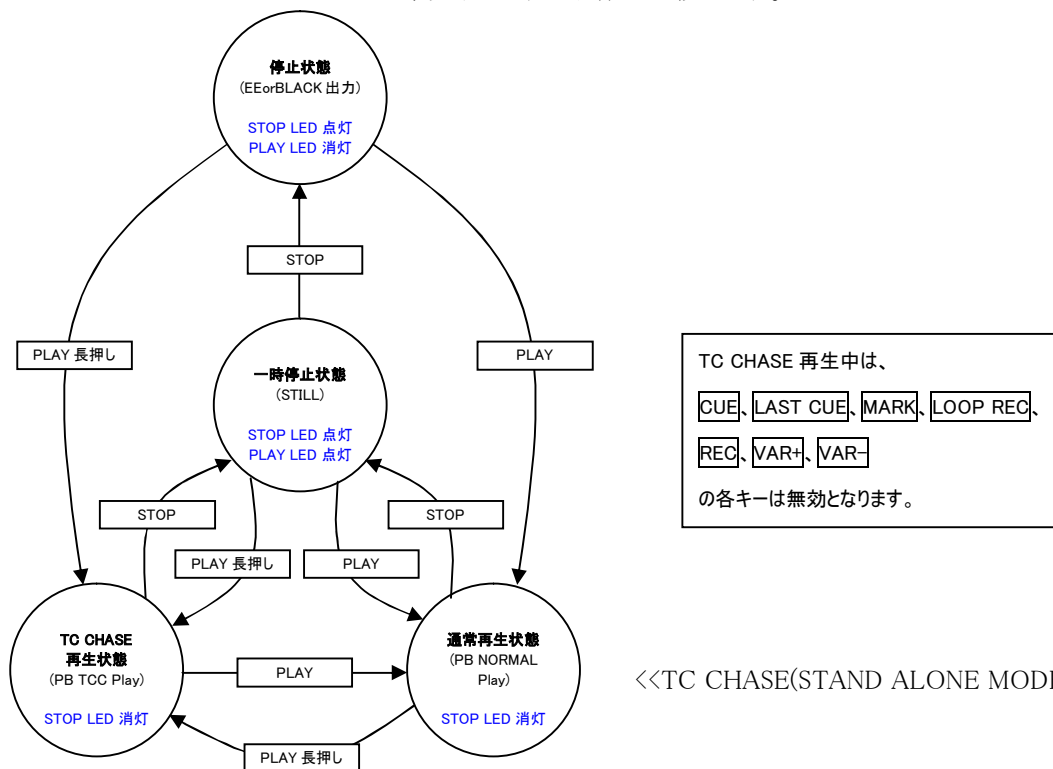
OBG-USE => NO

●TCチェイスの開始



○ PLAY ボタンの長押しで TC CHASE を開始します。

○ STAND ALONE MODE の VDRH は、以下のように動作が遷移します。



<<TC CHASE(STAND ALONE MODE)の動作遷移図>>

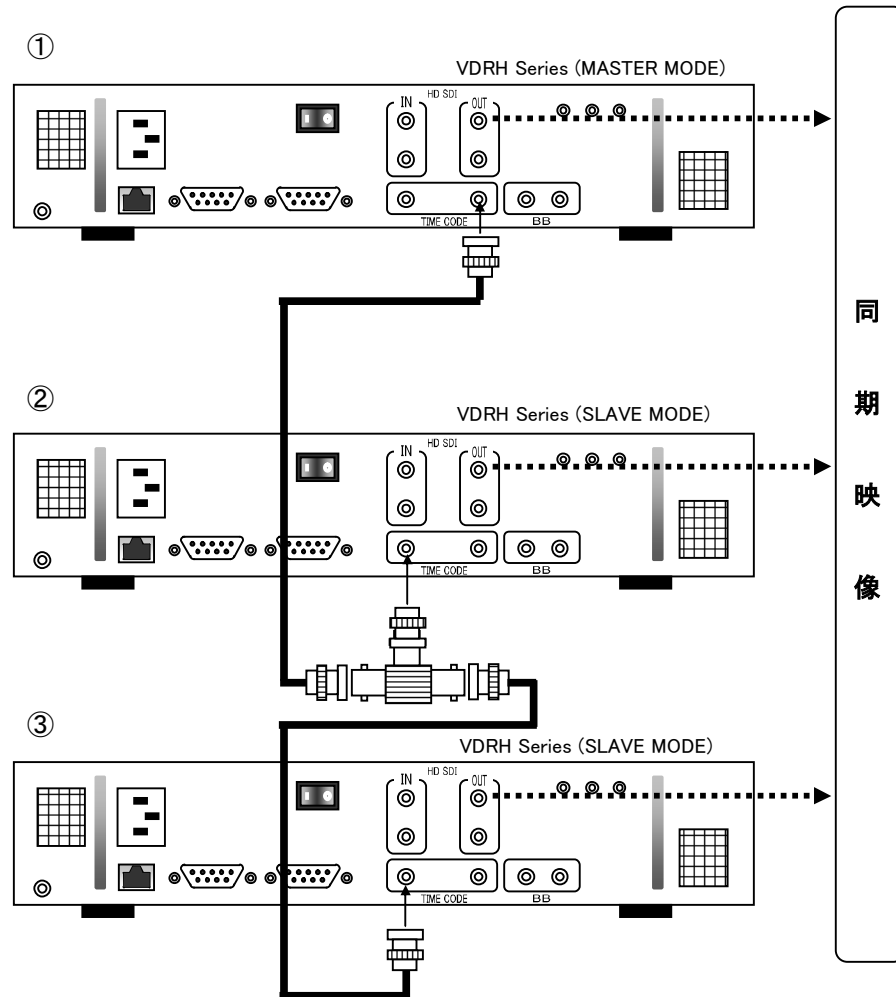
※STAND ALONE MODE で TC CHASE を行うには、TCG などのマスターが出力するタイムコードと同一のタイムコードを持つ映像素材を予めスレーブ側に録画しておく必要があります。また、タイムコードが不連続点を含まないように録画しなければなりません。不連続点があると、補正の有効／無効が切り替わり、映像跳びや音の途切れが発生します。

2.) MASTER/SLAVE MODE

MASTER/SLAVE MODE は、下図のように構成し、MASTER MODE で動作する VDRH(下図の①)の再生映像に付随して記録されているタイムコードに同期して、SLAVE MODE で動作する VDRH(下図の②③)の映像が出力されます。この場合、MASTER MODE で動作する VDRH(①)は TC CHASE のマスター、SLAVE MODE で動作する VDRH(②③)は TC CHASE のスレーブとして動作します。

MASTER/SLAVE MODE では、MASTER となる VDRH が、SMPTE12-1999 のバイナリグループを使用して独自のコマンドを生成し SLVAE に送信することにより、STAND ALONE MODE には無い機能を持ちます。

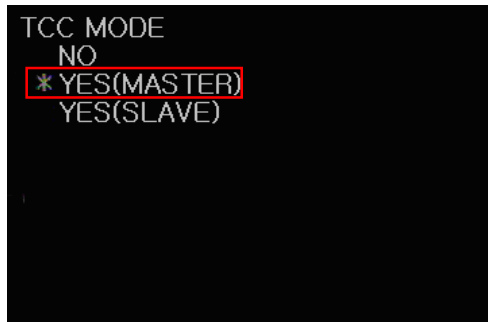
接続例)



●MASTER/SLAVE MODE の設定

<MASTER 機>

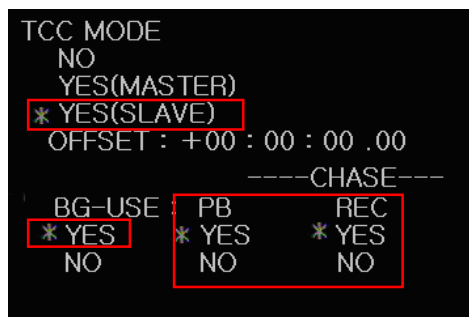
USER MENU1 - PB MODE 2 - TCC MODE



○TCC MODE => YES(MASTER)

<SLAVE 機>

USER MENU1 - PB MODE 2 - TCC MODE



○TCC MODE => YES(SLAVE)

○BG-USE => YES

●PB/REC => 任意

●TCチェイスの開始

REC CHASE 機能を使用する場合、MASTER 機の REC を開始すると SLAVE 機も REC を開始します。

PB CHASE 機能を使用している場合、MASTER 機を通常通り使用するだけで、自動で SLAVE 機の TC CHASE 再生が開始されます。※動作の中には、正しく追従しないものがあります。

PB CHASE 機能を使用していない場合、SLAVE 機は、STAND ALONE MODE と同様に操作する必要があります。

※MASTER/SLAVE MODE での MASTER 機は、タイムコードに加えて、この録画開始日付を SLAVE 機に送信します。SLAVE 機側で再生すべきフレームを検索する時、タイムコードだけでなく、日付の一致も確認します。これは、複数のシーンに跨ってチェイスする場合、タイムコードの重なりがあっても正常にチェイスできるようにするためです。従って、MASTER/SLAVE MODE で動作させる場合は、MASTER 機、SLAVE 機ともに、日付と時刻を合わせておく必要があります。「ADMIN MENU→SYSTEM1→DATE TIME」で合わせて下さい。

